愛知県立大学
Aichi Prefectural University

地域連携センター

年報

第 19 号

令和7［2025］年度

愛知県立大学

地域連携センター

Regional Liaison Center

地域連携センター年報第 19 号（2025 年度）の刊行にあたって

2025 年度も学内外の様々な皆様のご協力により、年報に記載した多くの取組を実施することができましたことに、感謝申し上げます。本地域連携センターの事業には、愛知県および県内自治体等との連携事業、高大連携事業、地域からの相談や学生ボランティア活動の窓口業務、公開講座・リカレント研修講座等があります。

愛知県との連携の一つとしましては、愛知県総務局との共催事業「愛知県地域づくり活動フォーラム」を本学で開催し、学生自主企画研究（地域課題研究枠）の研究成果を発表させていただき、地域づくりに関わる方々と学生たちが交流する機会を持つことができました。また、愛知県防災安全局県民安全課と共催での「性暴力被害防止セミナー」や、愛知県生涯学習推進センター、愛知教育大学とも連携した公開講座事業を実施することができました。

今年度の連携の新たな取組としましては、愛知県教育委員会高等学校教育課と本学との高大連携協議会が設置されたことが挙げられます。県立高校の改編・中高一貫校の設置や探究的学習の推進の流れの中で、高大連携が重要になってきています。2026 年度は高等学校における探究的な活動の中間発表会のようなイベントを本学で実施する予定で、準備を進めています。また、愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会 2026 に向けて、学生のボランティアの募集説明会や関連した講演会を開催し、学生には積極的にボランティアに応募していただくことができました。学生による地域でのボランティア活動の件数も増えており、今後の地域とのつながりのさらなる発展が期待されます。

その他、地域の課題を当事者から窺い、その課題解決に向けて学内でシェアすることを目的として、2022 年度から MAPU（Make a Problem-solving Unit, Meeting on a Problem-solving Unit）と称するイベントを実施しております。今年度は愛知県ユニセフ協会と「ユニセフ・ラブウォーク」に関する MAPU を 1 回実施し、ユニセフのイベント開催に協力することができました。そして MAPU とは逆に、本学の教員が刈谷東高校のユニークな授業に関心をもち、連絡をとることで、RmAPU に取り掛かり、学内でワークショップを実施することができました。

公開講座については、愛県大アカデミックデイ、退職教員による公開講座「県大アゲイン」の他、今年度から枠組みを新たにした教員企画による公開講座（県民講座・学術講演会・専門職対象リカレント研修講座）が行われました。2023 年度、文部科学省の「成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に採択された『医療・教育福祉現場を変革するエキスパート人材育成研修』事業は、2024 年度から地域連携センター管轄の事業として継続して実施し、おかげさまで財政的にも自立した運営が可能となりました。

2025 年度は、第 4 期中期計画の実施 1 年目の年でした。皆様のご協力により、計画された活動は無事実施することができました。今後も、本学の教育研究の成果を地域の皆様に発信・還元するため、地域との連携、高大連携、リカレント研修等にいっそう力を入れていきたいと思います。本学地域連携センターのホームページも改修し、「高大連携」のページや「地域からの相談・学生ボランティア」のページをつくりましたので、お気軽に相談や依頼をお寄せください。ひき続きどうぞよろしくお願いいたします。

令和 8 年／2026 年 3 月末日

愛知県立大学地域連携センター長　山本理絵

報 告 書 目 次

1　地域連携センターの概要 ・・・・・・・・・・ 1

2　地域連携センターの活動実績一覧 ・・・・・・・・・・ 2

3　自治体等との連携

（1）愛知県 ・・・・・・・・・・ 5

（2）長久手市 ・・・・・・・・・・ 13

（3）高大連携 ・・・・・・・・・・ 14

（4）その他 ・・・・・・・・・・ 15

（5）連携協定等 ・・・・・・・・・・ 19

4　公開講座等

（1）愛県大アカデミックデイ ・・・・・・・・・・ 20

（2）連続公開講座「県大アゲイン」 ・・・・・・・・・・ 21

（3）県民講座・学術講演会 ・・・・・・・・・・ 22

5　リカレント研修講座

（1）専門職対象(リカレント)研修講座 ・・・・・・・・・・ 32

（2）愛知県立大学リカレント教育事業 ・・・・・・・・・・ 37

6　地域連携センター守山支部の活動状況 ・・・・・・・・・・ 38

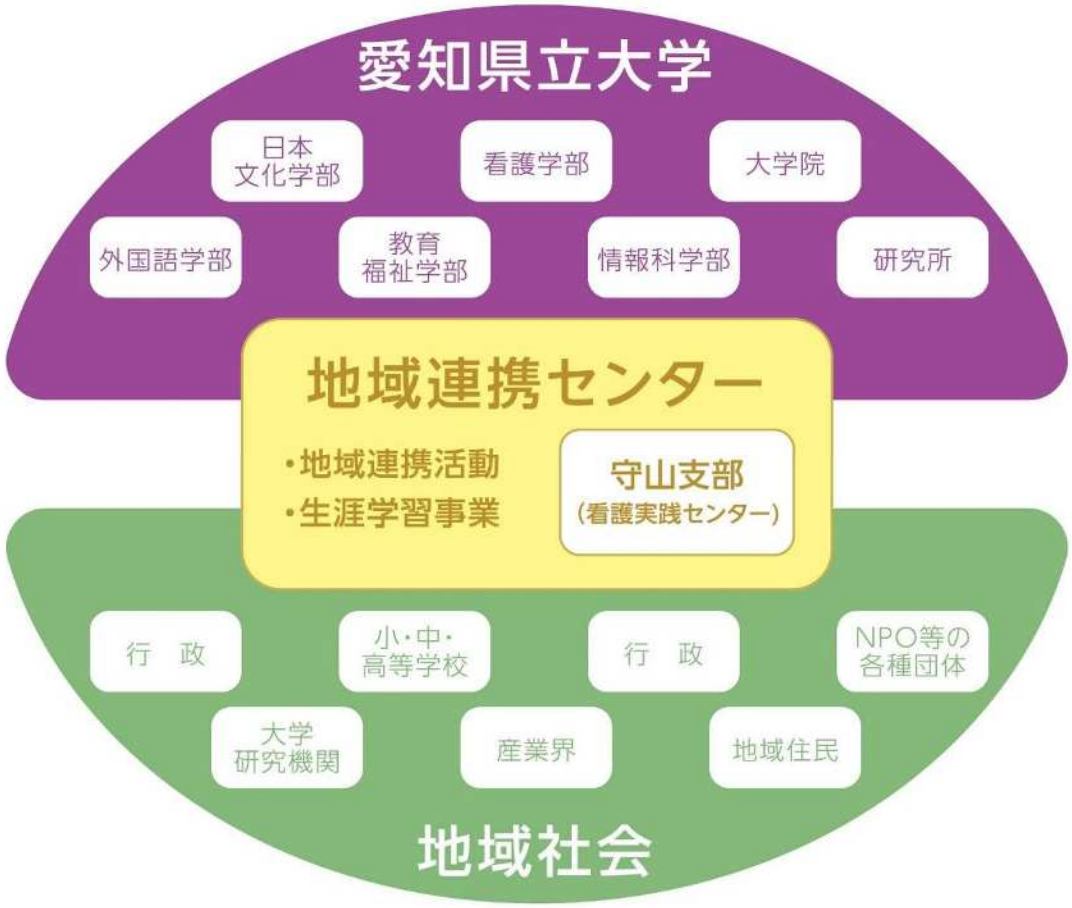
7　教員等による地域貢献 ・・・・・・・・・・ 66

8　資料 ・・・・・・・・・・ 68

１．地域連携センターの概要

地域連携センターの概要

地域連携センターは、愛知県や他の自治体、産業界、大学・研究機関、地域社会等と連携して、本学の研究成果を社会に還元し、地域の課題解決や活力創出に貢献するため、①対外的な窓口、②情報の集積・発信、③事業の立案・実施、④コーディネート及びサポートという機能を果たしています。



〇窓口としての機能

＜教員や学生団体へのコーディネート＞

自治体からの委員や講師依頼、連携事業の要望に対して、当センターが窓口となり、本学教員や学生団体へのコーディネートやサポートを行っています。

〇情報の集積・発信

＜地域連携に関する情報の一元化＞

地域連携に関する情報の一元化を図るため、年間の活動を掲載したイベントカレンダーや「愛知県立大学地域連携センターリーフレット」、「地域連携センター年報」等の作成や配布及び当センターウェブサイトでの情報発信を行い、本学の地域連携に関する情報の集約や発信を行っています。

２．地域連携センターの活動実績一覧

月日		運営会議･委員会等	行事･活動
4月	5日		認知症カフェ 「喫茶オレンジ」
	11日･14日		新入生向け 「愛知･名古屋アジア･アジパラ競技大会　ボランティア説明会」
	15日	第1回センター運営会議	
	16日	愛･地球博記念公園と愛知県立大学との 包括連携協定に関するフォローアップ会議	
	18日		公開講座 「愛知･名古屋アジア･アジアパラ競技大会2026 ー国際スポーツイベントでのボランティアの魅力ー」
	18日	認知症カフェスタッフミーティング	
5月	3日		認知症カフェ 「喫茶オレンジ」
	7日	あいちSTEAM能力育成事業「知の探究講座」第1回推進会議	
	15日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	16日	第2回センター運営会議	
	16日	認知症カフェスタッフミーティング	
	22日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	29日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	30日		看護研究スキルアップ基礎講座① 「看護研究の基礎」「看護研究における文献検索」「看護研究における倫理と手続き」
6月	5日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	6日	第3回センター運営会議	
	7日		認知症カフェ 「喫茶オレンジ」
	8日		連続公開講座 「県大アゲイン」第1回
	12日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	16日		連続公開講座 「県大アゲイン」第2回
	19日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	20日	認知症カフェスタッフミーティング	
	22日		連続公開講座 「県大アゲイン」第3回
	25日		MAPU2025 「愛知県ユニセフ協会の取り組みと活動」
	26日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
7月	1日	第4回センター運営会議	
	2日		公開講座(学術講演会) 「ガザとは何か？ー植民地主義･ジェノサイド･先住権という視点から」
	3日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	5日		認知症カフェ 「喫茶オレンジ」
	10日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	11日	令和7(2025)年度第1回長久手市大学連携調整会議	
	12日		公開講座(学術講演会) 「不安」から照らす「生」の諸相　ことば･こころ･肉体･･･俳優を招く
	16日		愛知県共催講演会 「性暴力被害防止セミナー」
	17日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	18日	認知症カフェスタッフミーティング	
	18日		看護研究スキルアップ基礎講座②、看護研究スキルアップ基礎講座③
	20日		令和7年度あいちSTEAM能力育成事業「知の探究講座」開講式
	23日		愛知･名古屋アジア･アジパラ競技大会　ボランティア登録県大生交流会
	24日		公開講座(リカレント研修講座) 「発達障がいフォーラム(保育や療育で今、求められる学びとは何か)」

月日		運営会議・委員会等	行事・活動
8月	1日		リカレント研修(コースA)オンデマンド講座開講(～2026年2月28日)
	2日		認知症カフェ 「喫茶オレンジ」
	4日		公開講座(リカレント研修講座)「読み書き障害の子どもの学び方を考える ＊KIDSCOLOR講座～特別な配慮が必要な子どもの理解と支援～の1コマ」
	4日～7日		公開講座 「もっと知りたいインドネシア語講座(初～中級)」
	9日		わくわく体験リニモツアーズ
	15日	認知症カフェスタッフミーティング	
	18日～26日		令和7年度あいちSTEAM能力育成事業「知の探究講座」 プログラミングの扉を開く
	19日		看護研究実践講座「日々の疑問を研究計画へ(初級実践編):看護研究に初めて取り組む方のための演習」
	29日		リカレント研修対面講座(コースA)
	31日		看護実践センターセミナー「医療メディエーションの理論と技法 コンフリクト・マネジメントをもとに」
9月	6日		認知症カフェ 「喫茶オレンジ」
	6日		公開講座(県民講座)「トランプ政権下の大衆向けメディア情報の統制 」
	9日	第5回センター運営会議	
	16日～28日		「スポーツ SDGs と国際協力のチカラ～Aichi-Nagoya2026 がつなぐ未来～」 企画展への参画・展示
	19日	認知症カフェスタッフミーティング	
	20日		認定看護師・専門看護師対象セミナー 「患者の尊厳と安全を守るケアの実践:～理論に基づく病院における身体拘束低減化の取り組み～」
	23日		公開講座 「昔話の不思議―助かるお婆さん、改心する狸―」
10月	1日		リカレント研修(コースB)オンデマンド講座開講(～2026年2月27日)
	4日		認知症カフェ 「喫茶オレンジ」
	6日	第6回センター運営会議	
	9日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	15日		認知症セミナー「知る 気づく 認知症について知ろう！～自分らしく暮らすことができる共生社会のために～」
	16日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	17日	認知症カフェスタッフミーティング	
	19日		リカレント研修対面講座(コースA・コースB)
	25日		公開講座(県民講座)「蓄積された情報源:国指定重要文化財小栗家住宅の新聞コレクションについて」
	29日		公開講座(県民講座)「カンボジアにおける学校体育開発支援活動の実際」
	30日		MAPU2025 「若者はなぜ話しかけるのをためらうのか？～『リベラルアーツ国語』を素材として～」
11月	1日		認知症カフェ 「喫茶オレンジ」
	1日		看護実践センターセミナー「看護を取り巻く制度の動向を理解し、看護現場に活かす」
	6日		公開講座(ピックアップイベント) 「東京パラリンピック銅メダリストの保育園時代は？」
	7日	第7回センター運営会議	
	8日		令和7年度あいちSTEAM能力育成事業「知の探究講座」 講座別発表会
	9日		リカレント研修対面講座(コースA)
	13日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	19日		認知症サポーター養成講座
	20日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	21日		リカレント研修対面講座(コースB)
	21日	認知症カフェスタッフミーティング	
	27日		あいちシルバーカレッジ専門コース①
	29日		看護実践セミナー(ラダーⅠ,Ⅱ対象セミナー)コミュニケーションスキルアップセミナー ～実践で活かす自分も相手も大切にする人間関係の作り方～」

月日		運営会議・委員会等	行事・活動
12月	2日	第1回医療・教育福祉リカレント教育推進事業実施委員会	
	4日		あいちシルバーカレッジ専門コース②
	6日		認知症カフェ 「喫茶オレンジ」
	12日	第8回センター運営会議	
	12日		公開講座(学術講演会)「インドネシア現地政治経済事情講演会」
	13日		公開講座(専門職リカレント) 「2025年度第1回愛知県立大学世界史セミナー「バルカン」の過去・現在・未来」
	18日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	19日		あいちシルバーカレッジ専門コース③
	19日	認知症カフェスタッフミーティング	
	20日		リカレント研修対面講座(コースB)
	21日		リカレント研修対面講座(コースA)
1月	7日	第9回センター運営会議	
	10日		認知症カフェ 「喫茶オレンジ」
	11日		令和7年度あいちSTEAM能力育成事業「知の探究講座」全体発表会
	15日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	16日	認知症カフェスタッフミーティング	
	27日	令和7(2025)年度第2回長久手市大学連携調整会議	
	29日	あいちSTEAM能力育成事業「知の探究講座」第2回推進会議	
2月	6日	第2回医療・教育福祉リカレント教育推進事業実施委員会	
	7日		認知症カフェ 「喫茶オレンジ」
	10日	第10回センター運営会議	
	13日		公開講座(学術講演会)「第8回国際セミナー 2026年、世界の展望」
	16日		2025年度 愛知県地域づくり活動フォーラム
	19日		子育てひろば「もりっこやまっこ」
	20日	認知症カフェスタッフミーティング	
	21日		公開講座(専門職リカレント) 「2025年度第2回愛知県立大学世界史セミナー」
3月	2日～8日		愛県大アカデミックデイDay2 2025
	7日		認知症カフェ 「喫茶オレンジ」
	10日	第11回センター運営会議	
	20日	認知症カフェスタッフミーティング	

３．自治体等との連携

（１）愛知県

「あいち認知症パートナー大学」

平成 29(2017)年に愛知県が策定した「あいちオレンジタウン構想第 1 期アクションプラン」に基づき、愛知県とともに認知症に理解の深いまちづくりに「じぶんごと」として取り組む大学として、平成 30(2018)年に「あいち認知症パートナー宣言」をし「あいち認知症パートナー大学」として登録されました。

昨年度に引き続き、認知症の方々やご家族をどのように支援できるのか、学生や行政、地域の方々と共に考え、取組みを行いました。

〇認知症カフェ「喫茶オレンジ」

・平成 30(2018)年度から長久手市社会福祉協議会による長久手の認知症カフェ「喫茶オレンジ」の運営に協力しています。毎月の運営会議に参加し、長久手市および長久手市社会福祉協議会と意見交換を重ね、カフェの中のプログラムの充実や利用者を増やす取り組みなどを検討しました。

・認知症カフェは毎月開催され、本学の学生（県大生）もボランティアとして対面で参加をしました。認知症当事者を含む市民の方々との交流を楽しみ、一緒に体操をするなどして場を盛り上げました。また、愛知県立大学弦楽部の学生がボランティアとして演奏を披露し、心が落ち着く時間を提供しました。

・学生が広報スタッフとして活動し、認知症に関する冊子の作成協力など、長久手市の認知症普及啓発活動に協力しています。





【認知症カフェ「喫茶オレンジ」の様子】

〇オレンジ本棚

令和元(2019)年度から学術研究情報センター長久手キャンパス図書館内に「オレンジ本棚」（認知症関連図書コーナー）を設置しています。

新しい書籍や視聴覚資料を随時本棚に展示し、認知症を学生にも「じぶんごと」として理解してもらえるよう、啓発をしています。



「認知症セミナー 知る 気づく 認知症について知ろう！
～自分らしく暮らすことができる共生社会のために～」

1. 運営種別：共催（長久手市、愛知県立大学地域連携センター）
   後援（愛知県）
2. 開催日時：令和 7（2025）年 10 月 15 日（水） 13：00～15：00
3. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟　多目的ホール／オンライン
4. 講　　師：栁澤 聖依 氏（長久手市認知症地域支援推進員）
   池俣 志帆（愛知県立大学 看護学部 准教授）
   山本 理絵（愛知県立大学 教育福祉学部 教授／地域連携センター長）
5. 参加者数：69 名（会場 26 名、オンライン 43 名）

【概　要】

第一部では、本学看護学部の池俣准教授より、認知症の初期症状を見逃さないためのポイント･家族や周囲の本人との接し方の解説があり、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら共生する活力ある社会（＝共生社会）の実現に向けた活動についてお話いただいた。

第二部は、本学教育福祉学部の山本教授より、認知症パートナー大学としての取組みについて紹介いただいた。

長久手市認知症地域支援推進員の栁澤氏からは､長久手市としての様々な取組みを紹介され、特に『認知症ケアパス』については、本学学生のボランティア参加者とのデザイン検討や患者さん自身や家族からヒアリングした声を反映させて、作成に至ったお話をいただいた。

【チラシ】



【会場の様子】



【会場の様子】



「認知症サポーター養成講座」

1. 運営種別：共催（長久手市、社会福祉法人長久手市社会福祉協議会、
   愛知県立大学地域連携センター）
2. 開催日時：令和 7（2025）年 11 月 19 日（水）13：00～14：30
3. 会　　場：オンライン
4. 講　　師：田中 寛大 氏（長久手市認知症地域支援推進員）
5. 参加者数：9 名（一般 5 名、学生 3 名、職員 1 名）

【概　要】

認知症サポーターは、何か特別なことをする人ではなく「認知症のことを正しく理解し、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者」である。
認知症を正しく理解し、自分のできる範囲でサポーターとして活動いただく。
参加者には普段から認知症サポーターの意識を持ち、周囲にも波及させることを目的とする「オレンジリング」を後日進呈した。

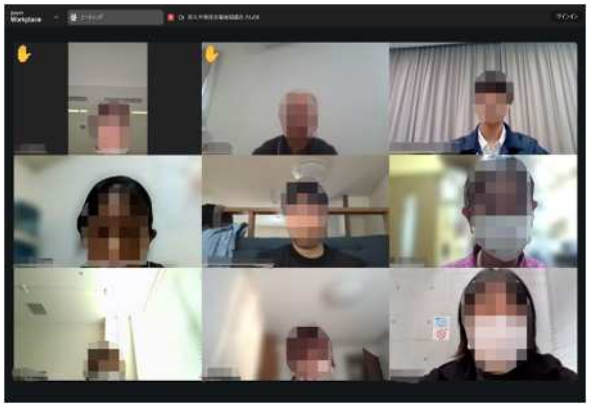
【チラシ】



【講座の様子】



【講座の様子】



「あいちシルバーカレッジ専門コース」

「あいちシルバーカレッジ」は、シニア世代の方々に学習の機会を提供することにより、生きがいと健康づくりを図るとともに、地域の社会活動の中核となる人材を養成するため、平成 3(1991)年度から愛知県が開講している。さらに、「あいちシルバーカレッジ」で学んだことを活用して、それぞれの地域で社会参加活動の体験から実践へつなげるための専門的な学習の場として、「あいちシルバーカレッジ専門コース」を開講しており、 本学も一部の企画立案や運営に携わっている。
今年度は定員 30 名に対し、申込者数が 155 名と例年と比較し 5 倍程度申込者数が増加したため、定員数を 40 名に変更した。

テーマ　地域で活用する IT
会　場　東海市創造の杜交流館、愛知県社会福祉会館、愛知県立大学長久手キャンパス、
　　STATION AI あいち創業館
参加者　39 名（あいちシルバーカレッジ卒業生）

実施日程および内容

開講日	内容
10 月 31 日（金）	・開講式／オリエンテーション／自己紹介 ・基礎講座　①愛知県における高齢社会の現状について 　　②愛知県における介護保険制度について ・フィールドワーク①「e スポーツ体験」
11 月 17 日（月）	・専門講座１「愛知県の DX 推進～デジタルで生まれ変わる愛知～」 ・専門講座２「災害時のスマートフォン活用術」
11 月 27 日（木）	・専門講座３「ＡＩの基礎」 　講師：粕谷 英人（愛知県立大学情報科学部　講師） ・専門講座４「情報社会（AI 時代）に生きること」 　講師：奥田 隆史（愛知県立大学情報科学部　教授） ・フィールドワーク②「愛知県立大学　ロボット研究所施設見学」 　講師：村上 和人（愛知県立大学情報科学部　教授） 　　鈴木 康之（愛知県立大学情報科学部　准教授）
12 月 4 日（木）	・フィールドワーク③「あいち創業館ガイドツアー」 ・専門講座５「生成ＡＩの仕組みとＡＩの利用」 　講師：粕谷 英人（愛知県立大学情報科学部　講師）
12 月 17 日（水）	・専門講座６「ＩＣＴを利用したフレイル予防」 ・専門講座７「健康アプリを活用したフレイル予防」
12 月 19 日（金）	・専門講座８「コミュニティソリューションとしてのＩＴ活用 　～つながってみよう　つくってみよう～」 ・専門講座９「地域社会の課題を IT を活用して解決する（総括）」 ・グループディスカッション 　講師：奥田 隆史（愛知県立大学情報科学部　教授） 　　粕谷 英人（愛知県立大学情報科学部　講師） ・閉講式

【会場の様子】12 月 4 日(木)



【会場の様子】12 月 19 日(金)



「性暴力被害防止セミナー」

1. 運営種別：共催（愛知県防災安全局県民安全課安全なまちづくりグループ、
愛知県立大学地域連携センター）
2. 開催日時：令和 7（2025）年 7 月 16 日（水）14：00～16：00
3. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟　多目的ホール
4. 講　　師：愛知県警察本部生活安全部生活安全特別捜査課
片岡 笑美子 氏
（一般社団法人　日本フォレンジックヒューマンケアセンター会長）
長江 美代子 氏
（一般社団法人　日本フォレンジックヒューマンケアセンター副会長）
5. 参加者数：53 名

【概　要】

「性暴力被害防止セミナー」は、毎年愛知県と共催で開催しているイベントである。愛知県警察本部生活安全部生活安全特別捜査課からは「性犯罪被害防止のための予防策」についてお話いただいた。

日本フォレンジックヒューマンケアセンター片岡会長からは、「性暴力被害の実態と支援活動 －早期発見・介入でからだとこころを守る－」について、長江副会長からは「性暴力被害の影響 －トラウマ・PTSD－」についてお話いただいた。

【チラシ】



【会場の様子】



【会場の様子】



MAPU　「どうする 愛知県ユニセフ協会の取組と活動」

1. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
2. 開催日時：令和 7（2025）年 6 月 25 日（水）　13：00～14：30
3. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス E 棟　CroCuS（クロッカス）／オンライン
4. 話題提供者：平光 佐知子 氏（愛知県ユニセフ協会事務局長）
   荒木 志津子 氏（愛知県ユニセフ協会スタッフ）
5. 参加者数：26 名（対面 15 名、オンライン 11 名）

【概　要】

本学では、自治体等の各団体の抱える課題を学内で共有しながら課題解決を図る MAPU(※)活動を行っている。

令和 7（2025）年度前期は、愛知県ユニセフ協会をお招きし、ユニセフの基本理念や活動を紹介いただいた。また、10 月 4 日（土）開催のユニセフ・ラブウォーク in 愛知（会場：モリコロパーク）のイベント開催に際して、参加者から様々な意見や質問がされるなど、活発な討論がされた。

※ MAPU …
Meeting on A Problem-solving Unit 又は Make A Problem-solving Unit の略。

【会場の様子】





【チラシ】



MAPU　「若者はなぜ話しかけるのをためらうのか？～
『リベラルアーツ国語』を素材として～」

1. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
2. 開催日時：令和 7（2025）年 10 月 30 日（木）　14：30～16：00
3. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス E 棟　CroCuS（クロッカス）
4. 講　　師：兵藤 友彦 氏（愛知県立刈谷東高等学校 教諭）
　　鈴木 音梨絵 氏（愛知県立豊野高等学校 教諭）
5. 参加者数：25 名

【概　要】

本学のプリエト ムニョス ベアトリス准教授と兵藤氏が共同イベントを開催し、若い世代に共通する課題である「話しかけることへのためらい」に焦点を当て、多様な他者と協働する力を育む教育のあり方を地域全体の課題として取り上げた。また、参加した学生は、ジェスチャーだけでしりとりをするワーク等を体験しながら、協働する力を育む教育を学んだ。

※ MAPU …
Meeting on A Problem-solving Unit 又は Make A Problem-solving Unit の略。

【会場の様子】





【チラシ】



「愛知県地域づくり活動フォーラム」

1. 運営種別：共催（愛知県、愛知県立大学地域連携センター）
2. 開催日時：令和 8（2026）年 2 月 16 日（月）　13：30～16：30
3. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟　多目的ホール／オンライン
4. 講　　師：松宮 朝（愛知県立大学教育福祉学部　教授）
5. 参加者数：89 名（会場 68 名、オンライン 21 名）

【概　要】

愛知県及び本学では、住民主体による自主的活動により地域の活性化を図る地域づくり活動について、市町村職員及び地域づくり団体関係者等に知識や関心を深めることを目的として、毎年愛知県地域づくり活動フォーラムを開催している。令和 7（2025）年度は以下の内容で開催した。

① 2025 年度愛知県地域づくり活動表彰式及び活動発表
- 犬山西地区コミュニティ推進協議会（犬山市）
- 特定非営利活動法人まち・ネット・みんなの広場（東海市）
- 地域環境活性化協議会（尾張旭市）
- 内海・山海まちづくり協議会「きずなの会」（南知多町）

② 愛知県立大学　学生グループ活動発表

テーマ：持ち歩きたい観光マップを考える―篠島から魅力発見！―

③ 講演

テーマ：多様な主体の地域づくりへの参画可能性

講　師：松宮 朝（愛知県立大学教育福祉学部　教授）

【会場の様子】







（２）長久手市

長久手市大学連携調整会議への参加について

長久手市と市内 4 大学（愛知県立芸術大学、愛知医科大学、愛知淑徳大学、愛知県立大学）は、まちづくりにおいて、大学が有する知的資源や特色を活かし、学術研究の場や機会を大学に提供するなど、相互の発展や充実に向けて組織的な連携を深めることにより、「人が輝き　緑があふれる　交流都市」としてふさわしい地域社会づくりに資することを目的として、平成 24（2012）年 12 月 20 日に長久手市大学連携推進協議会を設置しました。

その後、平成 30（2018）年 3 月に、長久手市において「長久手市大学連携推進ビジョン 4U」が策定され、長久手市内 4 大学とその学生・市民・企業などとの地域プラットフォームを築いて最大限の相乗効果を発揮させるため、令和 2（2020）年 4 月 1 日に長久手市大学連携推進協議会を発展させた長久手市大学連携調整会議を設置しました。

その後、名古屋学院大学、愛知学院大学の 2 大学が加わりました。

本会議の主旨に基づき、令和 7（2025）年度は以下の事業を実施いたしました。

〇長久手市大学連携調整会議の開催

令和 7（2025）年 7 月 11 日（金）長久手市役所開催

令和 8（2026）年 1 月 27 日（火）長久手市役所開催

〇その他関係各課からの依頼の窓口業務

（３）高大連携

「あいち STEAM 能力育成事業『知の探究講座』」

愛知県教育委員会では、愛知の未来を担う人材の育成を目指すＳＴＥＡＭ（Science、Technology、Engineering、Liberal arts、Mathematics）教育を推進するため、県内の６大学の協力の下、「知の探究講座」を開講しています。本学も６大学の１校として、企画・運営に携わっています。

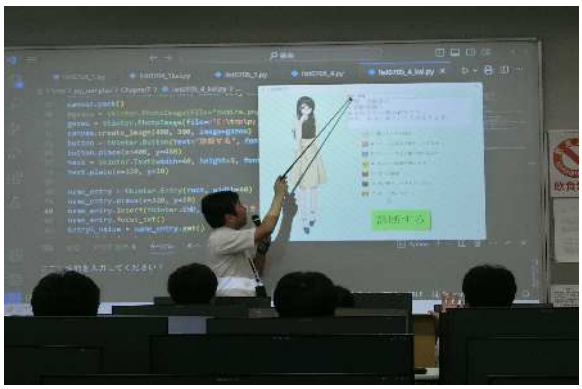
講座名　　「プログラミングの扉を開く」
会　場　　愛知県立大学長久手キャンパスＣ棟
参加者　　17 名（県内高校からの希望者）
実施日程および内容(時間は各日とも 10:00～16:00)

	実施日	講座内容
第１回	８月 18 日（月）	１　イントロダクション (1)　準備 (2)　はじめの一歩
第２回	８月 19 日（火）	２　プログラミング基礎 (1)　変数，条件分岐など
第３回	８月 20 日（水）	３　プログラミング応用１ (1)　CUI でミニゲーム開発 (2)　GUI の基礎
第４回	８月 21 日（木）	４　プログラミング応用２ (1)　本格的なゲーム開発 (2)　落ち物パズルの開発
第５回	８月 22 日（金）	５　グループワーク１ (1)　サンプルゲーム紹介 (2)　開発コンテンツの議論
第６回	８月 25 日（月）	６　グループワーク２ (1)　コンテンツ作成 (2)　発表スライドの準備
第７回	８月 26 日（火）	７　グループワーク３ (1)　コンテンツ作成 (2)　発表スライドの準備
第８回	11 月８日（土）	８　講座別発表会

・第１回推進会議　令和７(2025)年５月７日（水）　愛知県三の丸庁舎
・開講式　令和７(2025)年７月 20 日（日）名古屋工業大学 NITech Hall
・全体発表会　令和８(2026)年１月 11 日（日）豊田工業大学 豊田喜一郎記念ホール
・第２回推進会議　令和８(2026)年１月 29 日（木）愛知県三の丸庁舎

【会場の様子】





（４）その他

公開講座 「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会 2026
－国際スポーツイベントでのボランティアの魅力－」

1. 運営種別：共催（愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会、愛知県立大学地域連携センター）
2. 開催日時：令和 7（2025）年 4 月 18 日（金） 16：10～17：10
3. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟　多目的ホール／オンライン
4. 講　　師：澤田 良樹 氏（愛知・名古屋アジア・アジパラ競技大会組織委員会）
稲嶋 修一郎（愛知県立大学教育福祉学部　教授 ）
5. 参加者数：83 名（会場 33 名、オンライン 50 名）

【概　要】

令和 8（2026）年 9 月・10 月に開催される「第 20 回アジア競技大会／第 5 回アジアパラ競技大会」について、大会組織委員会より概要・大会ボランティア募集について説明をいただいた。

また、1994 年広島大会にボランティアとして参加された、本学の稲嶋教授より経験談・アジアにおけるスポーツの状況をお話いただいた。

【チラシ】



【会場の様子】





愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会 2026 に向けての取組み

・開催日時：令和 7（2025）年 4 月 11 日（金）、4 月 14 日（月）各日 2 回　計 4 回
・開催内容：新入生ガイダンス内にて、ボランティア説明会を開催しました。





・開催日時：令和 7（2025）年 7 月 23 日（金）
・開催内容：ボランティア登録県大生 meet and greet（交流会）を開催しました。





・開催日時：令和 7（2025）年 9 月 16 日（金）～9 月 28 日（日）
・開催内容：スポーツ SDGs 企画展にて展示を行いました。





・開催日時：令和 7（2025）年 10 月 8 日（水）
・開催内容：テクノロジーボランティア説明会を開催しました。





公開講座（ピックアップイベント）

「愛知県立大学創立 80 周年記念プレ講演会

東京パラリンピック銅メダリストの保育園時代は？」

1. 運営種別：共催（愛知県立大学教育福祉学部／生涯発達研究所／地域連携センター）
   後援（愛知県立大学全学同窓会）
2. 開催日時：令和 7（2025）年 11 月 6 日（木） 16：10～17：40
3. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟　多目的ホール／オンライン
4. 講　　師：伊藤 則子 氏（アジア・アジアパラ競技大会アスリート委員）
   小野 洋子 氏（名古屋市立保育園　元保育士）
5. 参加者数：94 名（会場 69 名、オンライン 25 名／オンデマンド視聴希望 75 名）

【概　要】

本講演では、東京 2020 パラリンピック・バドミントンで銅メダルに輝いた伊藤則子氏を招聘し、自身の保育園時代を中心に、周りの環境や自らの生い立ちについて、振り返りながら語られた。また保育園時代に担任した元保育士との対談が行われた。

【会場の様子】





【チラシ】



愛知工業大学（地域防災研究センター）との学生連携

〇学校防災シンポジウム 2025「進めよう！教育現場との協働」

1. 日　　時：令和 7（2025）年 12 月 20 日（土）　13：30～16：30
2. 会　　場：岐阜市生涯学習センターハートフルフルスクエア G 大研修室
3. 主　　催：岐阜大学、愛知工業大学
4. 協　　力：岐阜聖徳学園大学、愛知県立大学

【チラシ】



〇相互情報提供

両センターのイベントを互いに広報している。

ボランティア活動

地域連携センターでは、地域等との連携活動の一つとして、自治体や公益性・公共性のある事業を行う団体等から本学学生を対象としたボランティア依頼を受け付け、ボランティア活動のネットワーク作りを行っている。

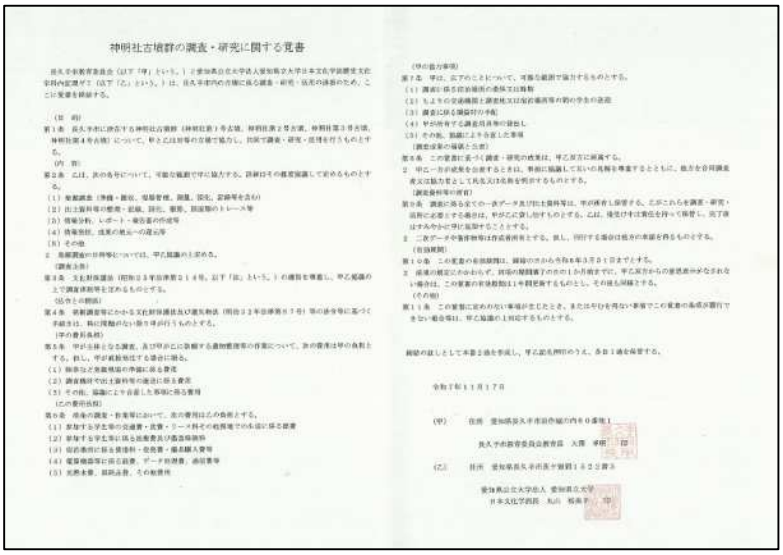
＜2025 年度の状況＞

内容	依頼件数	参加人数（延べ人数）
・認知症カフェ運営スタッフ ・学習支援ボランティア ・名古屋市内の地域の日本語教室で学習者の支援 ・ワークショップでのグループ内のファシリテート ・ユニバーサルボランティア（愛・地球博記念公園内） ・イベント補助　等	40 件	162 名

（５）連携協定等

○長久手市教育委員会との神明社古墳群の調査・研究に関する覚書

長久手市教育委員会と愛知県立大学日本文化学部歴史文化学科 内記理ゼミは、長久手市内の古墳に関わる調査・研究・活用の進展のため、覚書を締結しました。
（令和 7（2025）年 11 月 17 日（月））



神明社古墳群の調査・研究に関する覚書

○愛知県教育委員会・愛知県立大学　高大連携協議会の設置

2021 年 12 月に締結した「愛知県立大学と愛知県教育委員会との連携協力に関する協定書」に基づき、今後の愛知県立高等学校と愛知県立大学との連携及び協力の具体的方策について協議・検討等を行うため「愛知県教育委員会・愛知県立大学　高大連携協議会」を設置しました。
（令和 7（2025）年 6 月 18 日（水））

４．公開講座等

（１） 愛県大アカデミックデイ

「愛県大アカデミックデイ」とは、地域社会への貢献や生涯学習に向けた取り組みの一つとして、愛知県立大学に蓄積された研究成果を広く社会に還元する、オンデマンドによる研究発表会のことです。

1. 日　　時：令和８（2026）年３月２日（月）～令和８（2026）年３月８日（日）
2. 会　　場：オンデマンド（Vimeo）
3. 参加者数：114 名
   視聴数合計：延べ 381 回
4. 主なコンテンツ：
   ○教員による自由スタイルでの様々な研究発信
   ○学生による自主企画研究・活動発表
   ○公開講座・イベント
   ○愛知県立大学創立 80 周年記念プレ講演会　等

【チラシ】



【コンテンツ】





（２）連続公開講座「県大アゲイン」

「県大アゲイン」とは、かつて愛知県立大学で教鞭を取られた先生方をお迎えする公開講座のことで、卒業生が旧交を温める場としているほか、地域の方々に愛知県立大学を広く知っていただく機会として、毎年開催しています。

1. 講 座 名：連続公開講座 「県大アゲイン」
2. 日　　時：【第１回】令和７（2025）年６月 ８日（日）13：30～15：00
　　【第２回】令和７（2025）年６月 16 日（月）13：30～15：00
　　【第３回】令和７（2025）年６月 22 日（日）13：30～15：00
3. 会　　場：対面会場（サテライトキャンパス）

	参加者数
第１回	17
第２回	28
第３回	20

5. 講座内容・講師名

〇第１回　：

テーマ	**安心と自信を持って災害に備える考え方と方法**
講　師	清水 宣明 氏（看護学部 看護学科） 在職：2013 年４月～2025 年３月



〇第２回　：

テーマ	**「カウボーイソング」と「インディアンドラム」 ―北アメリカ大平原の音楽の神話と現実―**
講　師	エドガー・ポープ 氏（外国語学部 国際関係学科） 在職：2009 年４月～2025 年３月



〇第３回　：

テーマ	**非行少年の加害者性と被害者性**
講　師	堀尾 良弘 氏（教育福祉学部 教育発達学科） 在職：2000 年４月～2025 年３月



（３）県民講座・学術講演会

令和 7(2025)年度実施　地域連携事業リスト

	県　民　講　座	種別	開催日	参加人数		頁数
				対面	ｵﾝﾗｲﾝ	
1	トランプ政権下の大衆向けメディア情報の統制	共催	9/6	32	ー	23
2	昔話の不思議-助かるお婆さん、改心する狸	主催	9/23	48	ー	24
3	蓄積された情報源：国指定重要文化財小栗家住宅の新聞コレクションについて	主催	10/25	19	ー	25
4	カンボジアにおける学校体育開発支援活動の実際	主催	10/29	11	20	26

	学　術　講　演　会	種別	開催日	参加人数		頁数
				対面	ｵﾝﾗｲﾝ	
1	ガザとは何か？ ー植民地主義・ジェノサイド・先住権という視点から	共催	7/2	206	136	27
2	「不安」から照らす「生」の諸相 ことば・こころ・肉体…俳優ノゾエ 征爾を招く	共催	7/12	58	61	28
3	「もっと知りたいインドネシア語　初～中級」	主催	8/4~ 8/7	57	ー	29
4	インドネシア現地政治経済事情講演会 「プラボウォ政権の１年を振り返る -民主化時代の終焉と新秩序への回帰-」	主催	12/12	6	40	30
5	第８回国際セミナー 2026 年、世界の展望	主催	2/13	ー	126	31

公開講座（県民講座）

「トランプ政権下の大衆向けメディア情報の統制」

1. 申 請 者：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部　教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学生多文化共生研究所／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 9 月 6 日（月）　10：00～12：00
4. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟　多目的ホール
5. 講　　師：秋田 貴美子（愛知県立大学外国語学部　教授）
6. 参加者数：32 名

【概　要】

トランプ政権下でのメディア統制の実態、情報の在り方、民主主義への影響に関する件を中心に講師より話された。新聞、テレビで得る情報以外の米国の実情を知り、その米国メディアが日本のマスコミに影響をおよぼしている現状を認識することができ、複雑な世界情勢についても考えさせられる内容となった。

【会場の様子】





【チラシ】



公開講座（県民講座）

「昔話の不思議–助かるお婆さん、改心する狸–」

1. 申 請 者：黒川 麻実（愛知県立大学教育福祉学部　准教授）
2. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 9 月 23 日（火・祝）　13：00～14：30
4. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟　多目的ホール
5. 講　　師：黒川 麻実（愛知県立大学教育福祉学部　准教授）
6. 参加者数：48 名

【概　要】

本講座では、「カチカチ山」を中心に、昔話に潜む謎や物語の多様性について解説が行われた。同じ昔話でも絵本や教科書によって展開が異なる点に注目し、改心する狸や助かるお婆さんなど、物語の変容を考察した。参加者は幅広い年代にわたり、昔話の不思議な魅力に触れながら熱心に耳を傾けて頂き、質疑応答も活発で、昔話への関心の高さを実感する講座となった。

【会場の様子】





【チラシ】



公開講座（県民講座）

「蓄積された情報源：国指定重要文化財小栗家住宅の新聞コレクションについて」

1. 申 請 者：クラーマー スベン（愛知県立大学日本文化学部　准教授／
文化財調査活用総合研究所　副所長）
2. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 10 月 25 日（土）
午前の部　11：00～12：00、午後の部　14：00～15：00
4. 会　　場：国指定重要文化財小栗家住宅
5. 講　　師：クラーマー スベン（愛知県立大学日本文化学部　准教授／
文化財調査活用総合研究所　副所長）
6. 参加者数：午前の部 10 名、午後の部 9 名

【概　要】

本講座は、コレクションの保管場所である会場で行われ、その利点を活かし、明治から昭和戦前期の新聞をケースに入れず展示された。新聞コレクションの歴史資料としての価値や、古い新聞紙の匂いが分かるほど間近で実物を見られる機会はそう多くなく、今回の講座は、参加者の視覚や聴覚だけでなく、嗅覚も刺激する有意義なものであった。

【会場の様子】





【チラシ】



公開講座（県民講座）

「カンボジアにおける学校体育開発支援活動の実際」

1. 申 請 者：久我 アレキサンデル（愛知県立大学教育福祉学部　講師）
2. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 10 月 29 日（水）　13：00～14：30
4. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟　多目的ホール／オンライン
5. 講　　師：久我 アレキサンデル（愛知県立大学教育福祉学部　講師）
6. 参加者数：31 名（会場 11 名、オンライン 20 名）

【概　要】

本講演では、講師が 11 日間のカンボジア学校体育開発支援活動を通して知った後発開発途上国の体育の現状や、大学生ボランティア団体の活動と実践的な学びについて、多くの写真とともに報告がなされ、「体育やスポーツで人と人との壁を越えられる」可能性について言及された。

【会場の様子】





【チラシ】



公開講座（学術講演会）

「ガザとは何か？－植民地主義・ジェノサイド・先住権という視点から」

1. 申 請 者：山本 かほり（愛知県立大学教育福祉学部　教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学多文化共生研究所／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 7 月 2 日（水）　14：00～17：00
4. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス S 棟　S101 教室／オンライン
5. 講　　師：岡 真理 氏（早稲田大学文学学術院　教授）
6. 参加者数：342 名（会場 206 名、オンライン 136 名）

【概　要】

パレスチナの様々な問題を、講師である岡真理教授より話を頂いた。
その後、問題をガザにのみ限定しない視野を得るために、文化的ジェノサイドという側面から、本学の奥野教授（外国語学部）から話を頂いた。
その後、質問を中心に岡真理教授との対談が行われた。

【チラシ】



【講座の様子】



【対談の様子】



公開講座（学術講演会）

「『不安』から照らす『生』の諸相 ことば・こころ・肉体…俳優ノゾエ 征爾を招く」

1. 申 請 者：若松 伸哉（愛知県立大学日本文化学部　教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学不安と生の研究会／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 7 月 12 日（土）　13：30～15：30
4. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟　多目的ホール／オンライン
5. 講　　師：ノゾエ 征爾 氏（俳優・脚本家・演出家）
6. 参加者数：119 名（会場 58 名、オンライン 61 名）

【概　要】

講演では、「不安」から照らす「生」の諸相 ことば・こころ・肉体についてお話し頂いた。
その後、講師の潤色された「野外劇　吾輩は猫である」をワークショップ形式にて参加者に演じて頂いた。
「演じる」ということによる「他者の生を創る／生きる」を考える講座となった。
また同日、図書館において講演関連の展示も行われた。

【会場の様子】



【図書館の様子】



【チラシ】



公開講座（学術講演会）
「もっと知りたいインドネシア語　初～中級」

1. 申 請 者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部　准教授）
2. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 8 月 4 日（月）～7 日（木）（全 4 回）
   18：00～20：00
4. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟　文化交流室 A
5. 講　　師：髙地 薫 氏（神田外語大学外国語学部　准教授）
6. 参加者数：19 名（延べ 57 名）

【概　要】

4 日間連続で実施される本講座では、ビジネスや観光の際にインドネシア語を展開し使用できるように基礎を中心に学習した。講座は、髙地准教授が作成したテキストを用いて行われ、初日は発音や挨拶、2 日目以降は練習問題を解きながら文法を学んだ。

【会場の様子】





【チラシ】



公開講座（学術講演会）

インドネシア現地政治経済事情講習会

「プラボウォ政権の１年を振り返る−民主化時代の終焉と新秩序への回帰−」

1. 申 請 者：小座野 八光（愛知県立大学外国語学部　准教授）
2. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 12 月 12 日（金）　18：00～20：00
4. 会　　場：愛知県立大学サテライトキャンパス／オンライン
5. 講　　師：松井 和久 氏（松井グローカル合同会社代表、
   元アジア経済研究所主任研究員）
6. 参加者数：46 名（会場 6 名、オンライン 40 名）

【概　要】

本講演では、JETRO アジア経済研究所で長年インドネシア事情分析を行ってきた講師により、成立後 1 年を迎えたプラボウォ新政権についての分析を、様々な角度から行った。

【会場の様子】





【チラシ】



公開講座（学術講演会）

「第 8 回 国際セミナー 2026 年、世界の展望」

1. 申 請 者：奥野 良知（愛知県立大学外国語学部 教授）
2. 運営種別：主催（愛知県立大学地域連携センター）
3. 開催日時：令和 8（2026）年 2 月 13 日（金） 18：00～20：00
4. 会 場：オンライン
5. 講 師：西山 美久 氏(東京大学先端科学技術研究センター 特任助教)
   金城 美幸 氏（名古屋学院大学国際文化学部 講師)
   鈴木 隆 氏（大東文化大学東洋研究所 教授)
   小池 康弘（愛知県立大学外国語学部 教授)
6. ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ：奥野 良知（愛知県立大学外国語学部 教授）
7. 参加者数：126 名

【概 要】

本セミナーは、広く市民、特にビジネス・パーソンを対象に 2025 年の世界の回顧と 2026 年の世界の展望について考えるオンライン公開講座で、ウクライナ・ロシア問題、ガザ・イスラエル問題、中国問題、アメリカ問題などの学内外の専門家 4 名が講演し、質疑応答を行った。

【講座の様子】





【チラシ】



５．リカレント研修講座

専門職対象(リカレント)研修講座

	専門職対象(リカレント)研修講座	種別	開催日	参加人数		頁数
				対面	ｵﾝﾗｲﾝ	
1	2025 年度発達障がいフォーラム （保育や療育で今、求められる学びとは何か）	共催	7/24	45	66	33
2	「読み書き障害の子どもの学び方を考える ＊KIDSCOLOR 講座～特別な配慮が必要な 子どもの理解と支援～の１コマ	共催	8/4	42	ー	34
3	2025 年度第１回愛知県立大学世界史セミナー 「バルカン」の過去・現在・未来	共催	12/13	44	ー	35
4	2025 年度第 2 回愛知県立大学世界史セミナー ファシズム・社会主義・カトリック教会：社会回勅から 宗教と社会運動の関係を考える	共催	2/21	32	ー	36

愛知県立大学リカレント教育事業「医療・教育福祉現場を変革するエキスパート人材育成研修」

【コース A】「医療分野に強いスクールソーシャルワーカー及びスーパーバイザーの育成」

	プラン名	開講期間	受講者数	頁数
A-Ⅰ	『スクールソーシャルワークの理論と実践方法』 （履修証明プログラム）	8/1～2/28	11	37
A-Ⅱ	『スクールソーシャルワークの基本』	8/1～2/28	6	
A-Ⅲ①	『デジタル・医療・教育福祉の視点と技法』	8/1～2/28	2	
A-Ⅲ②	学校教員向け講座 ―実践に活かす医療・福祉の知識と視点―	8/1～2/28	2	
A-Ⅳ	『スクールソーシャルワークの事例研究①』	11/9	5	
A-Ⅴ	『スクールソーシャルワークの事例研究②』	12/21	4	
A-Ⅵ	『教育福祉分野で役に立つデジタル教育技法』	8/1～2/28	0	

【コース B】「医療の現場を支え看護の質を高めるクオリティ・マネジメントリーダーの育成」

	プラン名	開講期間	受講者数	頁数
B-Ⅰ	『看護の質を高めるクオリティ・マネジメントリーダー』	10/1～12/26	12	37
B-Ⅱ	『5 コマでわかる看護の質を高めるデジタル・教育技法』 オンデマンドパッケージ	10/1～2/27	14	
B-Ⅲ	『5 コマでわかる看護の質を高める看護管理と人材管理』 オンデマンドパッケージ	10/1～2/27	20	

（１）専門職対象（リカレント）研修講座

公開講座（リカレント研修講座）

「2025 年度発達障がいフォーラム（保育や療育で今、求められる学びとは何か）」

1. 申 請 者：三山 岳（愛知県立大学教育福祉学部　教授）
2. 運営種別：共催（瀬戸市教育部学校教育課、瀬戸市児童発達支援センター（発達支援室）、愛知県立大学生涯発達研究所／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 7 月 24 日（木）　14：30～16：30
4. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟　多目的ホール／オンライン
5. 講　　師：木下 孝司 氏（神戸大学大学院人間発達環境学研究科　教授）
6. 参加者数：111 名（会場 45 名、オンライン 66 名）

【概　要】

本講演では、「保育や療育で今、求められる学びとは何か～発達の視点から～」をテーマに、子ども理解のための２つのアプローチについて説明がなされ、「子どもの姿から学ぶこと」「子どもの発達を学び、子どもの見方を変えること」「実践から学ぶこと」の大切さについて学んだ。

【会場の様子】





【チラシ】



公開講座（リカレント研修講座）

「読み書き障害の子どもの学び方を考える

＊KIDSCOLOR 講座～特別な配慮が必要な子どもの理解と支援～の 1 コマ」

1. 申 請 者：瀬野 由衣（愛知県立大学教育福祉学部　准教授）
2. 運営種別：共催（NPO 法人 春日井子どもサポート KIDS COLOR、
愛知県立大学生涯発達研究所／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 8 月 4 日（月）　10：00～15：00
4. 会　　場：愛知県立大学長久手キャンパス K 棟　多目的ホール
5. 講　　師：平林 ルミ 氏（学びプラネット代表、東京大学大学院
教育学研究科付属バリアフリー教育研究開発センター特任助教）
6. 参加者数：42 名

【概　要】

午前は「読み書きに困難がある子どもの学びとは」に関する講義を中心に、午後は「ICT による読み書きサポートの実際」ということで、実際に iPad を使用しながらわかりやすく講義が進められた。

対話型アセスメントも実際に体験することができ、「読み書きが（通常の仕方では）できなくても（ICT ツール等を使いながら）学べる社会の実現」に向けて重要な考え方とその具体的な方法を学ぶ貴重な機会となった。

【会場の様子】





【チラシ】



公開講座（リカレント研修講座）

「2025 年度第 1 回　愛知県立大学世界史セミナー

『バルカン』の過去・現在・未来」

1. 申 請 者：奥野 良知（愛知県立大学外国語学部　教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学世界史研究会／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 7（2025）年 12 月 13 日（土）　16：00～18：00
4. 会　　場：愛知県立大学 サテライトキャンパス
5. 講　　師：月村 太郎 氏（同志社大学政策学部　教授）
6. 司　　会：奥野 良知（愛知県立大学外国語学部　教授）
7. 参加者数：44 名

【概　要】

本講演では、「バルカン」と呼ばれる欧州南東部の地理や歴史、バルカン諸国の独立や対立から生まれた世界大戦や内戦について、解説が行われた。また、現在も不安定な政治が続く中で、民主主義システムの退化や相対的貧困などが、バルカン諸国が抱える問題であることが説明された。

【会場の様子】





【チラシ】



公開講座（リカレント研修講座）

「2025 年度第 2 回　愛知県立大学世界史セミナー

ファシズム・社会主義・カトリック教会：社会回勅から宗教と社会運動の関係を考える」

1. 申 請 者：奥野 良知（愛知県立大学外国語学部　教授）
2. 運営種別：共催（愛知県立大学世界史研究会／地域連携センター）
3. 開催日時：令和 8（2026）年 2 月 21 日（土）　16：00～18：00
4. 会　　場：愛知県立大学 サテライトキャンパス
5. 講　　師：木内 翔（愛知県立大学外国語学部　講師）
6. 司　　会：奥野 良知（愛知県立大学外国語学部　教授）
7. 参加者数：32 名

【概　要】

本講演では、ローマ教皇がカトリック教会の社会への参与の方法や目的について述べた回勅について説明がなされ、社会回勅が時代や地域によってどのように変奏されていったのか解説が行われた。

【会場の様子】





【チラシ】



（２）愛知県立大学リカレント教育事業

愛知県立大学リカレント教育事業
「医療・教育福祉現場を変革するエキスパート人材育成研修」

愛知県立大学では、デジタル技術を駆使しながら医療・教育福祉現場の課題を明確にし、多職種連携を図りつつ課題解決に向けて現場に変革をもたらすことができるエキスパート人材の育成研修プログラムとして、以下の２つのコースを開講している。

【コース A】
「医療分野に強いスクールソーシャルワーカー及びスーパーバイザーの育成」
【コース B】
「医療の現場を支え看護の質を高めるクオリティ・マネジメントリーダーの育成」

2025 年度はコース A30 名、コース B46 名の計 76 名の受講申込があった。

【チラシ】





６．地域連携センター守山支部の活動状況

地域連携センター守山支部は、主に守山キャンパスにおける地域連携活動や生涯学習事業に関する業務を行うことにより、地域連携・地域貢献を推進することを目的としている。その目的を達成するために、次の 3 つの事業を実施する。

１．看護職を対象とした教育、研究指導及び情報発信に関すること

２．地域の健康維持・増進のための連携・支援に関すること

３．その他 地域連携センター守山支部長が適当と認めた業務

１．看護職教育・研究支援事業（リカレント事業）

1) 事業の目的

看護職を対象として、「実践」を中核としたセミナー等を開催し、看護継続教育、看護職への研究指導、情報発信等を行うことにより、地域における看護実践水準の向上を図るとともに、本学の地域連携事業の一翼を担う。

2) 受講者の受け入れ

プログラムの内容に応じて受講資格、受講定員数を明示して募集を行った。募集内容は看護実践センターホームページに掲載するとともに、一般看護職を対象としたセミナーでは東海 4 県 50 床以上および東海 4 県以外 100 床以上の病院 1,789 医療施設に、セミナーごとに作成したチラシを 5・6 月、8 月、11 月に各々まとめて 3 月、6 月、8 月に郵送した。対面で実施する 8・11 月のセミナーは、東海 4 県 50 床以上の 597 医療施設に 6 月、8 月にチラシを郵送した。

認定看護師・専門看護師フォローアップセミナーでは、がん化学療法看護、がん性疼痛看護認定看護師、がん看護専門看護師等が所属する全国の 1,935 医療施設にチラシを 6 月末に郵送した。本学修了生 458 名（希望者）にもメールで周知した。

3) セミナーの開催実績

令和 7 年度に開催した看護職対象のセミナーの実績を表 6-1-1、6-1-2 に示す。

1 講座に対して 2～3 人の委員が担当し、企画、チラシ作成、講師との調整、アンケートの評価項目の検討、資料の確認、司会進行、アンケートのまとめ・報告等を行った。

一般看護師を対象としたセミナー7 講座を企画・運営した。内訳は看護研究セミナー4 講座、看護管理セミナー2 講座、看護実践セミナー1 講座であり、合計 1,152 名（R6：1,833 名/8 講座）、定員に対して 107.2%が申込・入金をした。

認定看護師・専門看護師フォローアップセミナー１講座を企画・運営し、合計 414 名（R6：452 名）、定員に対して 103.5%が申込・入金をした。

8 講座の申込者の合計は、**1,566 名**（R6：2,441 名）であり、そのうち本学看護学研究科・認定看護師教育課程修了生 106 名（R6：175 名）の申込があった。また、その他、看護学部

教職員 16 名、博士前期課程学生 9 名の参加があった。セミナーによる収入は **6,155,200 円**（R6:**8,454,400** 円/10 講座）であった。

表 6-1-1　令和 7 年度セミナー企画(一般看護職対象)

	開催日 開催方法	講　座　名	定員	受講料 講義時間	R6 参加	申込 数	参加 者数	充足率	受講 証
No			n		n	n	n	%	n
1	5 月 30 日(金) 10:30～15:35 オンライン	看護研究スキルアップ基礎講座① 「看護研究の基礎」 講師：神谷摂子教授 「看護研究における文献検索」 講師：宇城令准教授 「看護研究における倫理と手続き」 講師：大原良子教授	**240**	4,800 円 3 時間 50 分	309	**266**	260	110.8	253
2	7 月 18 日(金) 9:30～12:30 オンライン	看護研究スキルアップ基礎講座②「量的研究入門」 講師：成定明彦准教授	**200**	3,600 円 3 時間	305	**194**	187	97.0	185
3	7 月 18 日(金) 14:00 ～ 16:00 オンライン	看護研究スキルアップ基礎講座③「質的研究入門」 講師：汲田明美准教授	**200**	2,400 円 2 時間	315	**198**	190	99.0	186
4	8 月 19 日(火) 13:00～16:30 対面	看護研究実践講座 「日々の疑問を研究計画へ(実践編):看護研究に取り組む方のための演習」 講師：藤野あゆみ教授	**20**	4,800 円 3 時間 30 分	14	**16**	15	80.0	15
5	8 月 31 日(日) 9：30～12：00 オンライン	「実践で活かす医療メディエーションの理論と技法～コンフリクト・マネジメントをもとに～」 講師：森田恵美子先生 （愛知県看護協会　常務理事）	**300**	3,600 円 2 時間 30 分	302	**408**	385	136.0	379
6	11 月 1 日(土) 11：00～16：30 対面	「看護を取り巻く制度の動向を理解し、看護現場に活かす」 講師：齋藤訓子先生 （一般社団法人全国訪問看護事業協会　参与）	**55**	6,000 円 4 時間 30 分	81	**46**	43	83.6	43
7	11 月 29 日(土) 10：00～12：00 対面	「コミュニケーションスキルアップセミナー～実践で活かす自分も相手も大切にする人間関係のつくりかた～」 講師：河邉紅美教授	**60**	2,400 円 2 時間	－	**24**	23	40.0	23
		合計	**1075**		**1326**	**1152**	**1103**	**平均：92.3**	**1084**

表 6-1-2　令和 7 年度セミナー企画(認定看護師・専門看護師対象)

	開催日	講　座　名	定員	受講料 講義時間	申込 数	参加 者数	充足率	受講証
No			n		n	n	%	n
8	9 月 20 日（土） 10:00～15:00 オンライン	認定看護師・専門看護師対象セミナー 「患者の尊厳と安全を守るケアの実践：～理論に基づく病院における身体拘束低減化の取り組み～」 講師：佐藤晶子　先生 （総合病院　聖霊三方原病院 老人看護専門看護師　看護学博士）	**400**	4,800 円 4 時間	**414**	391	103.5	378
		合計	**400**		**414**	391	103.5	378

＊参加者数は教職員、大学院生を除いた数を示す。
受講証は一定時間アクセスして受講した方に「受講証明証」を発行した数を示す。

4) 受講者の概要とオンライン及び対面でのセミナー

(1)受講者の概要

表　6-1-1 に示すとおり一般看護職を対象とした講座の受講者（申込者）総数は 1,152 名で定員の 92.3%であった。看護研究に関する講座(No.1～4)の受講数は、定員に対して 80.0～110.8%であった。また、看護管理に関する講座(No.5、6)の受講数は定員に対して 83.6～136.0%、看護実践に関する講座（No.7）の受講数は定員に対して 40.0%であった。対面で行った講座（No.4、6、7）は定員に対して 40.0～83.6%とオンラインセミナーよりも少なかった。

受講者の内訳は表 6-1-3 のとおりである。受講者は、役職別でみるとスタッフが 46.3%と多く、次いで主任級であった。年齢別でみると 40・50 歳代の看護師が 72.8%を占め、居住地は東海 4 県が 26.8%と最も多く、次いで関東（20.6%）、近畿（12.9%）の参加が多く、全都道府県からの参加があった。

表　6-1-2 に示すとおり認定看護師・専門看護師を対象とした講座の受講者（申込者）総数は 414 名で、定員に対して 103.5%であった。

受講者の概要は表　6-1-3、6-1-4 のとおりである。受講者を役職別でみるとスタッフが 38.9%と多く、次いで主任級であった。年齢別でみると 40・50 歳代が 82.1%を占め、居住地は関東が 26.3%、次いで東海 4 県（22.7%）、近畿（11.6%）からの参加が多く、全都道府県からの参加があった。認定看護師の専門領域は、がん性疼痛看護、緩和ケア、がん化学療法看護の順に多かった。

表 6-1-3　一般看護職対象セミナー受講者の概要

		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	合計	%
	定員	240	200	200	20	300	55	60	**1075**	100
	申込者数	266	194	198	16	408	46	24	**1152**	107.2
居住地	愛知県	39	30	32	10	28	35	20	194	**16.8**
	岐阜県	10	7	6	4	14	3	1	45	3.9
	三重県	12	4	4	2	2	3	2	29	2.5
	静岡県	10	4	6	0	18	3	1	42	3.6
	北海道	21	13	13	0	19	0	0	66	5.7
	東北	15	11	13	0	21	0	0	60	5.2
	関東	44	33	33	0	127	0	0	237	**20.6**
	中部（愛知・岐阜・静岡除く）	15	7	5	0	29	0	0	56	4.9
	近畿（三重除く）	39	25	22	0	62	1	0	149	**12.9**
	中国	17	16	23	0	40	0	0	96	8.3
	四国	9	13	11	0	11	1	0	45	3.9
	九州・沖縄	35	31	30	0	37	0	0	133	11.5
年齢	10 歳代	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	20 歳代	46	21	18	1	1	0	10	97	8.4
	30 歳代	58	38	41	3	29	3	6	178	15.5
	40 歳代	100	84	87	9	146	11	7	444	**38.5**
	50 歳代	56	48	50	3	208	29	1	395	34.3
	60 歳代以上	5	1	2	0	23	3	0	34	3.0
	不明	1	2	0	0	1	0	0	4	0.3
役職	部長級：看護部長・副看護部長	5	2	4	1	39	11	0	62	5.4
	師長級：看護師長・看護師長補佐・課長・課長補佐	21	29	24	0	186	21	1	282	24.5
	主任級：副看護師長・係長	60	45	46	5	103	7	1	267	23.2
	スタッフ	178	118	124	10	75	6	22	533	**46.3**
	その他	2	0	0	0	5	1	0	8	0.7
受講証の目的	資格更新	23	23	22	3	40	11	1	123	10.7
	勤務先に提出	181	122	132	7	278	19	19	758	**65.8**
	受講証明書は不要	34	30	31	6	50	13	4	168	14.6
	その他	28	19	13	0	40	3	0	103	8.9

表 6-1-4　認定看護師・専門看護師対象セミナー受講者の概要

		No.8	合計	%
	定員	400	**400**	100
	申込者数	414	**414**	103.5
居住地	愛知県	61	61	**14.7**
	岐阜県	11	11	2.7
	三重県	12	12	2.9
	静岡県	10	10	2.4
	北海道	16	16	3.9
	東北	30	30	7.2
	関東	109	109	**26.3**
	中部（愛知・岐阜・静岡除く）	33	33	8.0
	近畿（三重除く）	48	48	**11.6**
	中国	33	33	8.0
	四国	13	13	3.1
	九州・沖縄	38	38	9.2
年齢	20 歳代	14	14	3.4
	30 歳代	44	44	10.6
	40 歳代	181	181	**43.7**
	50 歳代	159	159	38.4
	60 歳代以上	13	13	3.1
	不明	3	3	0.7
役職	部長級：看護部長・副看護部長	29	29	7.0
	師長級：看護師長・看護師長補佐・課長・課長補佐	88	88	21.3
	主任級：副看護師長・係長	128	128	30.9
	スタッフ	161	161	**38.9**
	その他	8	8	1.9
認定看護師	がん性疼痛看護	51	51	2.9
	緩和ケア	33	33	2.6
	がん化学療法看護	45	45	2.5
	その他	191	191	**10.6**
専門看護師	がん看護	11	11	2.7
	老人看護	13	13	3.1
	精神看護	6	6	1.4
	その他	4	4	1.0
認定看護管理者		16	16	3.9
受講証の目的	資格更新	321	321	77.5
	勤務先に提出	74	74	17.9
	受講証明書は不要	7	7	1.7
	その他	12	12	2.9

(2)広報およびオンラインでのセミナー配信

表 6-1-5 のとおりオンラインセミナー5 講座ではチラシ・ポスターが 60.9%、職場の上司や同僚からの紹介が 40.1%であり、チラシの広報は効果があった。

セミナーは、講義棟 4 階看護実践センター室を配信場所として実施した。昨年度に引き続き Zoom のインストール方法や操作手順、資料のダウンロード方法を示した PDF を事前に受講生に送付し、事前に Zoom 接続テストを行い、5 講座で合計 60 名（10～15 名／1 講座）が利用し、回を重ねるごとに事前 Zoom 接続テストの人数が減少した。また、Zoom のインストール方法や操作手順は「わかりやすかった」が 79.8%（R6 は 79.6%）、音声の「不具合が特になかった」が 76.2%（R6 は 79.2%）、画面が「見やすかった」が 92.1%（R6 は 91.3%）であり、音声の不具合についても、特に問題はなかったといえる。配布資料の準備については「問題なくダウンロードできた」が 89.8%（R6 は 89.2%）と昨年度とほぼ変わらず準備ができていた。

表 6-1-5　オンラインセミナー広報の効果、オンライン環境など

	セミナーNo.	No.1	No.2	No.3	No.5	No.8	合計	%
	回答者数	162	99	87	266	272	886	100
知けかつきたっ	チラシ・ポスター	106	74	61	171	128	540	60.9
	職場の上司や同僚からの紹介	77	28	34	109	107	355	40.1
	本学の看護実践センターのウェブサイト	5	7	3	15	55	85	9.6
	職場以外の知人・友人からの紹介	0	0	0	0	0	0	0.0
	その他	0	0	0	3	13	16	1.8
	無回答	0	0	0	0	0	0	0.0

5)一般看護職を対象とした各セミナーの実施状況と評価

開催日・講師・講座名は表 6-1-1 に、参加者の概要は表 6-1-3、各セミナーの満足度と活用度を表 6-1-6 に示す。

アンケートの回収率は、全体で 75.8%（43.9～100.0%）であった。

一般看護職を対象としたセミナー7 講座と認定看護師・専門看護師・認定看護管理者セミナー1 講座、合計 8 講座全体では、講義内容の満足の度合いについて「①満足できた」が 58.1%、「②ほぼ満足できた」が 32.9%で合計 91.0%が満足することができていた。また、セミナーで学んだ内容を、今後の実践に活用できるかについて「①活用できる」が 44.4%、「②ほぼ活用できる」が 40.8%で合計 85.2%が今後の実践に活用できると回答した。

表 6-1-6　各セミナーの満足度と活用度（人数）

		No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	No. 6	No. 7	No. 8	合計	%
	参加者数	260	187	198	15	385	43	23	391	1235	100
	回答者数	162	99	87	15	266	21	19	272	941	75.8
	回答率（%）	62.3	52.9	43.9	100.0	69.1	48.8	82.6	69.6	75.8	
満足の度合い	①満足できた	75	11	30	14	189	16	13	199	547	58.1
	②ほぼ満足できた	81	32	43	1	73	4	6	70	310	32.9
	③どちらともいえない	6	32	12	0	3	0	0	3	56	6.0
	④あまり満足できなかった	0	19	2	0	1	0	0	0	22	2.3
	⑤満足できなかった	0	5	0	0	0	1	0	0	6	0.6
活用	①活用できる	83	18	33	14	120	11	17	122	418	44.4
	②ほぼ活用できる	65	28	35	1	118	9	2	126	384	40.8
	③どちらともいえない	14	39	19	0	25	1	0	23	121	12.9
	④あまり活用できない	0	11	0	0	2	0	0	0	13	1.4
	⑤活用できない	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0.3
	無回答	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0.2

各セミナーについて、概要を以下に報告する。

(1)看護研究スキルアップ講座①

① 日　　時：令和 7 年 5 月 30 日（金）10：30～15：35

② 開催方法：オンライン

③ 講　　師：「看護研究の基礎」：神谷摂子（愛知県立大学看護学部　教授)、「看護研究における文献検索」：宇城令（愛知県立大学看護学部　准教授)、「看護研究における倫理と手続き」：大原良子（愛知県立大学看護学部　教授）

④ 参加者数：260 名

【目的】看護研究に必要な用語を学ぶとともに、研究プロセスに必要な倫理的配慮と文献検討方法および研究計画書の書き方を理解し、今後の研究活動に役立てることができる。

【各セミナーの目標】「看護研究の基礎」：研究に必要な用語を理解できる。「看護研究における倫理と手続き」：看護研究を行ううえでの倫理原則や看護研究プロセスの各段階における研究倫理について理解できる。「看護研究における文献検索」：文献検索・文献検討の意義と方法について理解できる。

（担当：籠玲子、西尾亜理砂）

【チラシ】



【セミナーの様子】









(2) 看護研究スキルアップ講座②「量的研究入門」

① 日　　時：令和 7 年 7 月 18 日（金）9：30～12：30

② 開催方法：オンライン

③ 講　　師：成定明彦（愛知県立大学看護学部　准教授）

④ 参加者数：187 名

【目的・目標】量的研究の考え方の基本を学び、仮想の研究データを分析するプロセスの体験を通じて、量的研究実施の意欲向上と苦手意識の軽減を図る。

（担当：西尾亜理砂、林恵里子）

【チラシ】



【セミナーの様子】





(3) 看護研究スキルアップ講座③「質的研究入門」

① 日　　時：令和 7 年 7 月 18 日（金）14：00～16：00

② 開催方法：オンライン

③ 講　　師：汲田明美（愛知県立大学看護学部　准教授）

④ 参加者数：190 名

【目的・目標】質的研究とはどのようなものか、主な質的研究の種類と特徴を知ることができる。また、その中でも質的記述的研究に焦点をあて、特に「対象者と相互行為の中でデータを産出する」こと、「データに根付いた分析」について学び、参加者の研究目的を達成する研究手法の理解に役立つことができる。

（担当：籠玲子、林恵里子）

【セミナーの様子】





（4）看護研究実践講座

「日々の疑問を研究計画へ（実践編）：看護研究に取り組む方のための演習」

① 日　　時：令和 7 年 8 月 19 日（火）13：00～16：30

② 開催方法：対面　愛知県立大学　守山キャンパス　中講義室

③ 講　　師：藤野あゆみ（愛知県立大学看護学部　教授）

④ 参加者数：15 名

【目的】日々の研究疑問をもとに、研究計画書を作成する際の基本的な思考のたどり方を具体的に学ぶ。

【目標】研究疑問をもとに、研究目的、研究の意義、研究方法、倫理的配慮などについて考え、研究計画書を作成する。

15 名の参加者に対して、1～2 名にインストラクター1 名がサポートを行い、研究計画書を作成する思考過程を細分化して一通り体験できるようにした。

（担当：大原良子、吉野直人、伊藤裕子）

【チラシ】



【セミナーの様子】







(5)「医療メディエーションの理論と技法～コンフリクト・マネジメントをもとに～」

① 日　　時：令和 7 年 8 月 31 日（日）9：30～12：00

② 開催方法：オンライン

③ 講　　師：森田恵美子氏（愛知県看護協会　常務理事）

④ 参加者数：385 名

【目的・目標】医療メディエーションの理論と技法を学ぶことにより、日常のコンフリクトの予防や日々のコミュニケーションの向上に役立てることができる。

（担当：河邉紅美、青柳美樹、森香津子）

【チラシ】



【セミナーの様子】





(6) 認定看護師・専門看護師フォローアップセミナー「患者の尊厳と安全を守るケアの実践～理論に基づく病院における身体拘束低減化の取り組み～」

① 日　　時：令和 7 年 9 月 20 日（土）10：00～15：00

② 開催方法：オンライン

③ 講　　師：佐藤晶子氏（総合病院　聖隷三方原病院 看護部課長 老人看護専門看護師）

④ 参加者数：391 名

【目的・目標】患者個々に合わせた尊厳と安全を守るための具体的な看護ケアの実践を理解するとともに、理論に基づいた身体拘束低減化の具体的な方法を学ぶ。学んだ内容は、自施設に合わせて、身体拘束低減化に向けた取り組みに役立てることができる。

（担当：河邉紅美、伊藤裕子、竹内佳見）

【チラシ】



【セミナーの様子】





(7)「看護を取り巻く制度の動向を理解し、看護現場に活かす」

① 日　　時：令和 7 年 11 月 1 日（土）11：00～16：30

② 開催方法：対面　愛知県立大学　サテライトキャンパス

③ 講　　師：齋藤訓子氏（一般社団法人 全国訪問看護事業協会 参与）

④ 参加者数：43 名

【目的・目標】医療法、介護保険法、診療報酬・介護報酬など看護を取り巻く諸制度の動向から、制度の変化が看護現場にどのような影響を及ぼすのかその問題や対策、評価について学び、今後の看護管理および看護実践に役立てることができる。

（担当：宇城令、森香津子、河邉紅美）

【チラシ】



【セミナーの様子】





(8)「コミュニケーションスキルアップセミナー～実践で活かす自分も相手も大切にする人間関係のつくりかた～」

① 日　　時：令和 7 年 11 月 29 日（土）10：00～12：00

② 開催方法：対面　愛知県立大学　サテライトキャンパス

③ 講　　師：河邉紅美（愛知県立大学看護学部　教授）

④ 参加者数：23 名

【目的・目標】自分も相手も大切にする実践的なコミュニケーションスキル（相互尊重型コミュニケーション）を学ぶことにより、風通しの良い職場環境づくりや、安心して働ける関係性の構築に役立てることができる。

（担当：青柳美樹、吉野直人、竹内佳見）

【チラシ】



【セミナーの様子】





２． 地域連携事業

1) 子育て支援事業　子育てひろば「もりっこやまっこ」

(1) 事業の目的

地域連携センター守山支部の事業目的である地域の健康維持・増進のための連携・支援に関することの一環として子育て支援事業を行い、周辺地域の子育て支援の充実に寄与する。

(2) 参加者の受け入れ方針と登録制度

【対象】0～3 歳の未就園児とその保護者

【登録】本事業では、参加者の登録制度を採用し、初回参加時に保護者に以下の内容を文書と口頭で説明し、同意を得た上で参加登録を依頼している。

① 事業の方針および大学施設の規則を遵守すること。

② 本学の教育活動として、自由ひろばに学生が参加すること又は健康教室（育児講座）をウィメンズヘルス・助産学専門分野在籍の大学院生が実施すること。

③ 大学院生や教員が行う研究に対し、参加者の同意を得た上で、協力を求めることがあること。

④ 子どもから常に目を離さず、けんかや危険な遊びをしている時には、自分の子どもかどうかに関わらず声をかけあい、事故防止に努めること。

⑤ おもちゃや本の取扱に注意し、ごみを持ち帰るなど他の参加者や今後のひろば運営に配慮をお願いしたいこと。

【参加費】無料とし、法人予算によって運営する。

【募集】看護実践センターホームページにより開催予定を周知するほか、チラシを登録者及び学外（近隣の連携施設）に配布して、広く募集する。

(3) 子育てひろば「自由ひろば・サロン」の運営方法

本事業の運営にあたっては、安全で円滑な運営となるように、「管理マニュアル」「各担当マニュアル」「当日マニュアル」等を整備し、各担当者の役割を明確にするとともに、衛生管理、事故防止、不審者対策、災害発生時の対応、個人情報管理、事故および安全管理について手順を定めて実施した。また、自由ひろばでの救急時に備えて、応急手当物品、BLS のポスター等を整備している。

(4) 事業計画・開催実績

表 6-2-1 のとおり令和 7 年度は、自由ひろばを前期 6 回、後期 5 回（全てサロンあり）、合計 11 回を計画し開催した。

表 6-2-1　令和 7 年度「子育てひろば」の内容と申込、参加者数

回	開催日		サロンの内容	講師 敬称略	サロンの対象	サロンの定員	担当教員	サロン申込組	サロン参加組	参加組
1	5 月 15 日 (木)	自由 ひろば	リトミック	浅野加織	3 歳までの 子ども・保護者	25 組	勝村 長谷川	29	23	38
2	5 月 22 日 (木)	自由 ひろば	ヨガ	はしもと かおり	3 歳までの 子ども・保護者	25 組	汲田 神谷	18	19	32
3	5 月 29 日 (木)	自由 ひろば	健康教育	助産師 コース 大学院生	3 歳までの 子ども・保護者	10 組	汲田 長谷川	11	10	24
4	6 月 5 日 (木)	自由 ひろば	リトミック	浅野加織	3 歳までの 子ども・保護者	25 組	中井 三浦	31	24	35
5	6 月 12 日 (木)	自由 ひろば	健康教育	助産師 コース 大学院生	3 歳までの 子ども・保護者	10 組	足立 汲田	7	7	25
6	6 月 19 日 (木)	自由 ひろば	健康教育	助産師 コース 大学院生	3 歳までの 子ども・保護者	10 組	三浦 足立	10	9	23
7	6 月 26 日 (木)	小サロン	ベビーサイン	川原直子	6 か月～1 歳半まで子ども・保護者	10 組	勝村 足立	12	12	12
8	7 月 3 日 (木)	小サロン	ベビーマッサージ	冨田 美智代	2-6 か月までの 子ども・保護者	10 組	近藤 片平	13	13	13
9	7 月 10 日 (木)	小サロン	離乳食交流会	三浦康平※	離乳食について話をしたい保護者	10 組	賀沢 近藤	8	7	7
10	7 月 17 日 (木)	小サロン	ベビー マッサージ	冨田 美智代	2-6 か月までの 子ども・保護者	10 組	中井 足立	12	8	8
11	10 月 9 日 (木)	小サロン	ベビー マッサージ	津田 佐貴子	2-6 か月までの 子ども・保護者	10 組	勝村 糟谷	10	9	9
12	10 月 16 日 (木)	自由 ひろば	リトミック	浅野加織	3 歳までの 子ども・保護者	25 組	糟谷 近藤	34	33	53
13	11 月 13 日 (木)	小サロン	ベビー マッサージ	津田 佐貴子	2-6 か月までの 子ども・保護者	10 組	糟谷 賀沢	11	10	11
14	11 月 20 日 (木)	自由 ひろば	ヨガ	はしもと かおり	3 歳までの 子ども・保護者	25 組	糟谷 賀沢	28	20	51
15	12 月 18 日 (木)	自由 ひろば	クリスマス会	とよた かおり	3 歳までの 子ども・保護者	なし	汲田 中井	－	89	89
16	1 月 15 日 (木)	自由 ひろば	ママの運動	三浦康平※	3 歳までの 子ども・保護者	なし	賀沢 近藤	28	22	63
17	2 月 19 日 (木)	自由 ひろば	鍼灸の話	杉浦雄	3 歳までの 子ども・保護者	25 組	長谷川 米川	25	21	59
				※ 学内講師			合計		247	552

小サロンは、定員を 10 組、事前予約制とし、前期 4 回、後期 2 回、合計 6 回実施した。子育てひろば内でのサロンは、定員を 10 組～25 組程度とし、ヨガ、ベビーマッサージ、リトミック、鍼灸の話、健康教室等を計画・実施した。クリスマス会、ママの運動は定員を設けなかった。

2 回分ごとに企画をまとめ、WEB サイトで申込みができるようにした。表 6-2-1 のとおり合計 17 回開催し、参加者は 552 組であった。昨年度は自由ひろばの定員を 60 組としていたが、予約後のキャンセルが多いことや、利用する保護者の負担を軽減するために、事前予約制をなくして開催した。前期は、近隣の子育てイベントと重なったときに参加者が減少したが、それ以外は 30 組前後、後期は 50～60 組が参加し、12 月のクリスマス会開催日については、90 組近くの参加があった。

表 6-2-2-1　令和 7 年度「子育てひろば」の参加者概要

回	サロン内容	サロン定員	サロン申込	サロン参加	サロン定員割合%	参加組	参加組		0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	子ども合計
							新規	会員					
2	ヨガ	25	29	23	92.0	38	18	20	16	19	7	0	42
14		25	28	20	80.0	51	11	40	21	16	21	3	61
1	リトミック	25	18	19	76.0	32	9	23	15	9	5	0	29
4		25	31	24	96.0	35	7	28	18	18	7	0	43
12		25	34	33	132.0	53	15	38	20	28	13	1	62
3	健康教室	10	11	10	100.0	24	4	20	13	13	4	0	30
5		10	7	7	70.0	25	6	19	7	19	4	0	30
6		10	10	9	90.0	23	4	19	8	15	1	0	24
8	ベビーマッサージ	10	13	13	130.0	13	7	6	13	0	0	0	13
10		10	12	8	80.0	8	2	6	7	1	0	0	8
11		10	10	9	90.0	9	3	6	9	0	0	0	9
13		10	11	10	100.0	11	3	8	10	2	0	0	12
7	ベビーサイン	10	12	12	120.0	12	4	8	10	2	1	0	13
9	離乳食交流会	10	8	7	70.0	7	2	5	5	2	0	0	7
15	クリスマス会	－	－	－	－	89	28	61	17	49	30	4	100
16	ママの運動	－	28	22	－	63	7	56	16	32	19	3	70
17	鍼灸の話	25	25	21	84.0	59	4	55	17	27	20	4	68
	合計	－	－	－	平均 94.0	552	134	418	222 35.8%	252 40.6%	132 21.3%	15 2.4%	621

サロンの定員に対する参加率は、70.0～132.0%であった。自由ひろば開催時のサロンへの参加率は 70.0～132.0%、定員がある小サロンの定員に対する参加率は 70.0～130.0%であった。

(5) 参加者概要

参加 552 組(R6:530 組)のうち新規登録者は 134 組（24.3%）であり、平成 29 年～令和元年の平均 231 組/年と比較すると少なく、また昨年度の 154 組と比較すると減少していた。

表 6-2-2 のとおり、子どもの参加はのべ合計 621 名（R5:573 名）であり、年齢は、0 歳が 222 名（35.8%、R6:33.3%）、1 歳が 252 名（40.6%、R6:35.6%）、2 歳が 132 名（21.3%、R6:29.1%）、3 歳が 15 名（2.4%、R6:1.9%）で、0～1 歳児が昨年度より増加していた。また、参加した保護者は母親が最も多いが、父親の割合も増加してきた。

参加者の居住地は、守山区志段味地区が最も多かった。その他、近隣の市町村からの参加もあった。

図 6-2-1-1　令和 7 年度「子育てひろば」参加した子どもの年齢分布

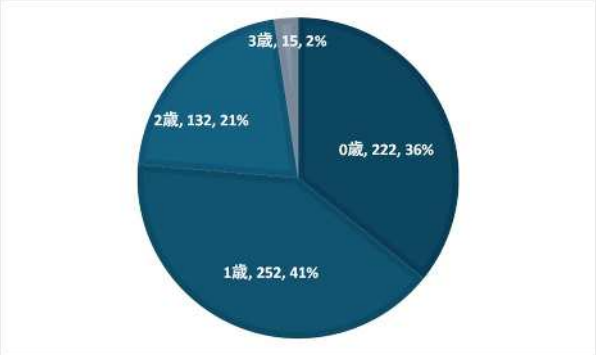


図 6-2-1-2　令和 7 年度「子育てひろば」参加した保護者の分布

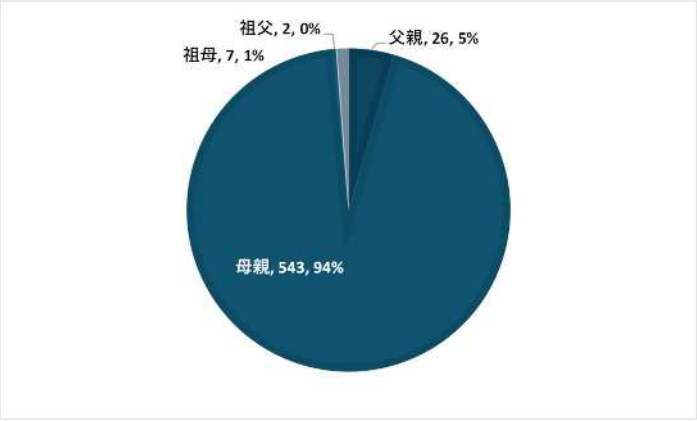


表 6-2-2-2 令和 7 年度　参加者の居住地

地区	組数
守山区志段味地区	320
春日井市	61
守山区（志段味地区以外）	52
尾張旭市	45
瀬戸市	37
それ以外（知立市、北区、長久手市）	25
不明	12
計	552

(6)学生の参加状況

表 6-2-3　令和 7 年度　学生の参加状況（実習・授業・ボランティア）

内容 / 開催時期	学部 4 年生 母性看護学実習	大学院 （ウィメンズヘルス助産学）	ボランティア
前期（5 月～7 月）	10 回	健康教育　3 回	なし
後期（10 月～2 月）	なし	演習・授業　2 回	2 名

(7)広報

「もりっこやまっこ」のホームページの内容等を見直し修正し、自由ひろば、小サロン開催の案内を掲載した。3 か月ごとに企画をまとめてチラシを作成し、守山保健センター志段味分室、守山区役所、志段味図書館、春日井市役所、近隣の産院、保育園、商業施設等に送付した。さらに、2025 年 4 月時点での登録者 161 名と新規登録者をメーリングリストで管理し、3 か月ごとに企画のチラシをメールで送付した。名古屋市守山区子育て情報サイトの子育てカレンダー、にも開催日等の掲載を依頼した。

(8)子育てひろばの実施状況と評価

①自由ひろばの開催状況

＜企画の目的＞

未就園児とその保護者が気分転換を図り、保護者同士、子ども同士が気軽に交流できる機会、子育てに関する専門職との相談の機会等を図る。

＜開催計画および実施状況＞

表 6-2-1 のとおり合計 11 回開催し、すべてにサロンを組み入れた。詳細は(9)子育てひろば参加者の声を参照。

表 6-2-4 令和 7 年度サロン「ヨガ・リトミック・健康教室・クリスマス会・ママの運動・鍼灸のお話」のアンケート結果概要

回	2	14	1	4	12	3	5	6	15	16	17
サロンの内容	ヨガ		リトミック			健康教室			クリスマス会	ママの運動	鍼灸の話
サロンの定員	25	25	25	25	25	10	10	10	－	－	25
サロン参加者	19	20	23	24	33	10	7	9	－	22	21
定員に対する参加率　%	76.0	80.0	92.0	96.0	132.0	100.0	70.0	90.0	－	－	84.0
サロン参加者の回答数	15	20	14	15	21	10	7	9	71	16	20
サロン参加者の回収率　%	78.9	100	60.9	62.5	63.6	100.0	100.0	100.0	－	72.7	95.2
【満足度】											
満足	14	15	13	14	17	10	6	9	53	12	17
ほぼ満足	1	5	1	1	3	0	1	0	17	4	3
どちらともいえない	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
やや不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【役立ち度】											
役立つ	14	12	9	10	17	10	6	9	46	13	15
ほぼ役立つ	1	5	3	5	4	0	1	0	18	3	5
どちらともいえない	0	3	2	0	0	0	0	0	6	0	0
あまり役に立たない	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
役立たない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

②ヨガ



＜企画の目的＞

保護者を対象に、運動不足の解消や気分転換を図るとともに、育児による腰痛や肩こりなどの身体的不調の解消をする。

＜開催計画および実施状況＞

表 6-2-1、6-2-4 のとおり 2 回計画した。保護者を対象にヨガのインストラクターによるヨガ教室を行った。子どもと一緒に参加することも可能であるが、子どもが遊具で遊ぶ場合は、保護者がヨガに集中できるよう、なるべくスタッフが子どもの見守りを行うようにした。乳児を持つ保護者が参加する場合は、乳児とともに行えるヨガ内容を実施するなど、参加者の背景を事前に把握したうえで、講師に依頼した。0 歳児をもつ母親の参加が多くみられた。

③リトミック



＜企画の目的＞

子どもが音楽に親しみながら身体を動かす機会を作るとともに、子どもが楽しむ姿を見ることにより、保護者の日々の気分転換を図る。

＜開催計画および実施状況＞

表 6-2-1、6-2-4 のとおり 3 回計画し、3 歳以下の子どもと保護者を対象に音楽講師によるリトミックを開催した。ニーズが非常に高いため、昨年度より開催回数を増やして開催した。事前に対象の子どもの年齢を把握したうえで、成長発達に応じた内容を講師に依頼した。また、講師が子どもの反応を確認しながら実施できるようにした。

④健康教室（育児講座）



＜企画の目的＞

子どもの成長発達に合わせた、育児に関する知識や具体的な手段についての情報提供を行うこと、また、関心が高い内容について、特に子どもに関する内容に焦点を当て、具体的な対策等の情報提供を行い、育児をする上での不安を軽減する。

＜開催計画および実施状況＞

表 6-2-1、6-2-4 のとおり、助産師学生による育児講座を 3 回行った。育児講座では「食べる！育つ！お口の準備教室」「こどもの成長を育むおやつ」「ぐんぐん育つ！遊び教室」のテーマで、参加者同士の交流を交えながら開催した。

⑤クリスマス会





＜企画の目的＞

未就園児と保護者に対し、季節のイベントとして、クリスマスの雰囲気を感じていただく。

＜開催計画および実施状況＞

表 6-2-1、6-2-4 のとおり毎年恒例のクリスマス会を開催した。ソプラノ歌手、ピアニストによるコンサート、学内教職員、学生によるサンタクロース、トナカイの登場を企画した。また、職員の手づくりのマラカスとひろばのキャラクターをつけた拭き戻しのおもちゃをサンタクロースやトナカイに扮装した教職員や大学院生が配布した。また、昨年度のアンケートによる希望より、サンタクロースやトナカイとのグリーティングの機会も設け、大変好評であった。

⑥ママの運動



＜企画の目的＞

保護者を対象に運動を行い、日頃の運動不足の解消や気分転換を図る。

＜開催計画および実施状況＞

表 6-2-1、6-2-4 のとおり 1 回計画し、3 歳以下の子どもと保護者を対象に学内講師による運動を行った。今年度は、アンケートによる希望が多いバランスボールを使用したエクササイズも、一部企画した。

⑦鍼灸のお話



＜企画の目的＞

保護者を対象に、肩こりや腰痛、腱鞘炎など、育児で疲れた身体をセルフケアできる方法を教授することで、身体的不調の解消をする。また、夜尿や夜泣きなどの子どもの困りごとに対処できる手掛かりとなる。

＜開催計画および実施状況＞

表 6-2-1、6-2-4 のとおり 1 回計画し、3 歳以下の子どもと保護者を対象に鍼灸講師による講義や実際にツボを押すなどの体験を行った。

表 6-2-5 令和 7 年度サロン「ベビーマッサージ」「ベビーサイン」「離乳食交流会」のアンケート結果概要

回		8	10	11	13	7	9
サロンの内容		ベビーマッサージ				ベビーサイン	離乳食交流会
サロンの定員		10	10	10	10	10	10
サロン参加者		13	8	9	10	12	13
参加率　%		130.0	80.0	90.0	100.0	120.0	130.0
サロン参加者の回答数		13	8	9	10	12	13
サロン参加者の回収率　%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
子育てへの役立度	役立つ	12	5	7	6	10	6
	ほぼ役立つ	1	3	2	4	2	0
	どちらともいえない	0	0	0	0	0	1
	あまり役に立たない	0	0	0	0	0	0
	役立たない	0	0	0	0	0	0
満足度	満足	12	5	8	7	11	5
	ほぼ満足	1	3	1	3	1	2
	どちらともいえない	0	0	0	0	0	0
	やや不満	0	0	0	0	0	0
	不満	0	0	0	0	0	0

⑧ベビーマッサージ

＜企画の目的＞



母子・父子がベビーマッサージを通して楽しく触れ合う機会を作ることで、乳児の成長発達を促進するとともに、母親・父親が乳児との接し方を学び育児に対する自信を持つこと、また母子・父子の愛着形成の促進を目的に行った。さらに、乳児期は外出がままならず孤立感を抱きやすいため、専門職と繋がることで育児不安の軽減を図る。

＜開催計画および実施状況＞



表 6-2-1、6-2-5 のとおり 4 回計画し、生後 2～6 か月（10 か月頃まで可）の乳児と保護者を対象に助産師のインストラクター2 名が各 2 回、ベビーマッサージを行った。

⑨ベビーサイン



＜企画の目的＞

子どもがことばを話せるようになる前に、お世話をしてくれる人たちとコミュニケーションを図るとともに、子どもの気持ちがわかり、育児ストレスの軽減を図る。

＜開催計画および実施状況＞

表 6-2-1、6-2-5 のとおり 1 回計画し、生後 6 か月から 1 歳半までの乳幼児と保護者を対象に、助産師のインストラクター1 名がベビーサインのサロンを開催した。

⑩離乳食交流会



＜企画の目的＞

離乳食に悩む保護者が多いことから、離乳食に関する知識の提供、母親・父親同士の交流をはかり、離乳食に関する悩みが軽減する。

＜開催計画および実施状況＞

表 6-2-1、6-2-5 のとおり 1 回計画し、本学の管理栄養士の教員より、離乳食に関するミニレクチャーの後、管理栄養士、助産師、看護師と参加者で離乳食についてのフリーディスカッションを行った。

⑪育児相談・交流会



＜企画の目的＞

未就園児を持つ保護者の育児に対する悩みは非常に多い。保護者同士および専門職との交流を図り、育児に対する不安の軽減に努める。

＜開催計画および実施状況＞

事前申し込みの際に相談の有無を確認して対応し、自由ひろば・小サロン参加時に相談がある場合に対応した。また、ベビーマッサージ、ベビーサイン、離乳食交流会の小サロン開催後に自由参加にて、参加者の交流会を実施した。

育児相談は、2～15組でのべ119組であった。自由ひろばでは身長・体重の測定希望が多く、測定しながらの相談対応を行った。相談内容は、「授乳」「離乳食」「子どもの発達」「夜の睡眠」などであった。

ベビーマッサージやベビーサイン後の交流会は、各講師や助産師資格のある委員がファシリテーターとして2グループに分かれて実施し、離乳食、児の成長・発達、頭の向き、夜の睡眠、皮膚のただれ・あせも、うつ伏せなどの相談に対応し、参加者同士でも情報交換していた。

⑫ふれあい遊び（サロン中に開催）





＜企画の目的＞

子どもの成長発達の促進には、保護者の関わりが非常に重要である。現代は子どもとの接し方、特に遊び方がわからない保護者は多く、それらを学習する機会が少ないことから、子どもとのふれあい方を知る機会となるとともに、子どもの成長発達を促進する。

＜開催計画および実施状況＞

サロン・小サロンにおいて、サロンのはじめと終わりに、保育士によるふれあい遊びを取り入れた。

クリスマス会では、保育士を中心に、クリスマスに関係する制作コーナーを設け、親子で制作を行った。

(9)子育てひろば参加者の声（１～２月参加者への調査結果）

表 6-2-6　令和７年度「子育てひろば」のアンケート結果（回答者数 72）

質問項目	選択肢	回答数	回答率％
1)はじめて参加したのはいつですか？	今年度から	41	57
	前年度から	9	13
	前々年度以前から	20	28
	わからない	2	3
2)本年度は何回参加されましたか？	ほぼ毎回（15回以上）	6	8
	1か月に2回程度（11～13回程度）	1	1
	1か月に1回程度（9～10回程度）	15	21
	2か月に1回程度（5～8回）	6	8
	3か月に1回程度（3～4回）	18	25
	半年に1回程度（2回）	7	10
	1回のみ	17	24
	わからない	0	0
	無回答	2	3
3)「もりっこやまっこ」以外に参加している子育てひろばやサークルはありますか？	ここだけ	19	26
	ここだけ以外に1か所	21	29
	ここだけ以外に2か所	16	22
	ここだけ以外に3か所以上	15	21
	無回答	1	1
4)参加したお子さんは何歳ですか？（複数回答）	1歳未満	15	19
	1歳0か月～2歳未満	37	46
	2歳0か月～3歳未満	25	31
	3歳0か月～4歳未満	3	4
5)「もりっこやまっこ」をどこで知りましたか？（複数回答） その他：卒業生、大人のためのサロン、近所	友達の紹介	28	39
	保健所・保健センターの紹介	20	28
	守山区子育てマップ	18	25
	もりっこやまっこ公式ホームページ	9	13
	もりっこやまっこ公式SNS	3	4
	「もりっこやまっこ」からのメール	0	0
	公共施設、スーパー、クリニック等に設置された「もりっこやまっこ」チラシ	6	8
	その他	7	10
	無回答	1	1
6)「もりっこやまっこ」に参加した理由を教えてください。（複数回答） その他：天候に左右されず体を動かせる	子どもと外出するきっかけ	54	75
	自分の子どもとのふれあい	24	33
	同じ年齢の子どもとの出会い・ふれあい	21	29
	広い遊び場所	40	56
	屋内の遊び場所	39	54
	安全な遊び場所	25	35
	「もりっこやまっこ」サロンへの関心	13	18
	育児不安や心配事の共有	1	1
	育児友達との出会い・情報交換	11	15
	保育士・看護師・助産師への相談	3	4
	その他	1	1

7)居住地域を教えてください。	守山区志段味地区	45	63
	春日井市	9	13
	尾張旭市	6	8
	瀬戸市	3	4
	守山区（志段味地区以外）	5	7
	それ以外（知立市、北区、長久手市）	3	4
	無回答	1	1
8)「もりっこやまっこ」全体に対する満足の度合いを教えてください。	満足	42	58
	ほぼ満足	27	38
	どちらともいえない	2	3
	やや不満	0	0
	不満	0	0
	無回答	1	1
9)「もりっこやまっこ」は、あなたの子育てにどの程度役立ちそうですか？	役立つ	41	57
	ほぼ役立つ	27	38
	どちらともいえない	3	4
	あまり役に立たない	0	0
	役立たない	0	0
	無回答	1	1
10)本学体育館での開催について、気になることがありましたら教えてください。	ない	62	86
	ある	7	10
	無回答	3	4

①アンケート結果のまとめ

【アンケート回答者の概要】

- 今年度初めて参加した人が 41 名（57%）である。前年度からの利用者は 9 名（13%）、前々年度以前からの利用者は 20 名（28%）である。昨年度結果と比較すると今年度から 44%が増加し、前年度からの 20%が減少している傾向である。
- 参加頻度については 3 か月に 1 回程度（3～4 回）18 名（25%）が最も多いのは昨年度と同じだが、本年度はその次の頻度が 1 か月に 1 回程度（9～10 回）15 名（21%）となり頻度が増加している（1 回のみ参加を除く）。
- 居住地域は守山区志段味地区が 45 名（63%）で最も多く、他には春日井市、尾張旭市、守山区（志段味地区以外）、瀬戸市など、本学周辺地域からの参加が多い。
- 参加した子どもの年齢は 1・2 歳が 62 名（78%）で、1 歳未満は 15 名（19%）である（全子ども数累計 80 名の割合）。
- 「もりっこやまっこ」を知ったきっかけは、友達の紹介が 28 名（39%）で最も多く、保健所・保健センターの紹介が 20 名（28%）、守山区子育てマップで知った方が 18 名（25%）である。
- 「もりっこやまっこ」への参加理由は、「子どもと外出するきっかけ」54 名（75%）が最も多く、続いて「広い遊び場所」40 名（56%）、「屋内の遊び場所」39 名（54%）、「安全な遊び場所」25 名（35%）、「自分の子どもとのふれあい」24 名（33%）、「同じ

年齢の子どもとの出会い・ふれあい」21 名（29%）、「サロンへの関心」13 名（18%）、の順であった（72 家族で複数回答）。

【「もりっこやまっこ」に対する参加者の要望】

- もう少し多く開催してほしい、自由ひろばを毎週やってほしい。
- 広くて暖かくて良いという意見がある一方で、夏暑く、冬寒いといった意見が多かった。

②アンケートによる全体評価

- 利用者の満足度は 96%と高く、子育てへの役立ち度も 95%と高い結果である。
- 前期は 10 回、後期は 7 回の開催で利用者同士の交流の機会も増え、また楽しそうに遊ぶ子どもの姿で、満足度や子育てへの役立ち度が増加したと考える。
- 大学周辺地域の子育て支援に貢献できていると考える。
- 体育館の絵本コーナーにホットカーペットを導入し、冬の寒い季節でも子育てひろばを楽しめたと考える。

2） その他、地域との連携・支援に関する活動

(1)守山区とのとの連携・協力

①守山区地域子育て支援ネットワーク事業への協力

守山区の「地域子育て支援ネットワーク事業守山チーム会議」は、年 6 回対面で開催され子育て関係機関との連携を図った。また、「もりやまっこ子育て広場」（年 1 回開催）や、「もりやまっこ子育てミニ広場」（年 2 回開催）にも委員が参加した。

②守山区主任児童委員研修会　講師の派遣

日時：2026 年 3 月 10 日（火）10：00～11：30
会場：守山区役所 3 階講堂
内容：守山区より協力依頼があり、汲田副委員長を、研修会講師として派遣した。守山区主任児童委員を対象に、「子どもを安全に見守るために」のテーマで、子ども事故予防や様々な対処法について、演習を交えて行った。参加者は 18 名であった。



(2)守山区上志段味自治会活動への協力

上志段味自治会長及び区政協力委員長から学区のイベントに地域連携として参加依頼があり、上志段味学区連絡協議会（2 か月に 1 回開催）に参加した。また、以下のイベントに参加・協力した。

①上志段味地区 春風運動会への協力



日時：2025 年 4 月 26 日（土）9：00～13：00
会場：しだみゅー　古代体験広場
内容：上志段味地区自治体主催の第 1 回春風運動会の救護員として、教員 3 名、大学院生 2 名、職員 1 名が参加した。

②上志段味地区　夏祭りへの協力

日時：2025 年 8 月 10 日（日）15：00～21：00
会場：歴史の里　古代体験広場等
内容：上志段味地区自治体主催の夏祭りに救護員として、協力予定であったが、当日雨天のため開催は中止となった。

③フレイル予防イベント かみしだみ 健康ひろば



日時：2025年10月17日（金）10：00～11：30
会場：上志段味公民館ホール
内容：看護学研究科博士前期課程地域・国際看護学研究分野高度実践（保健師）コースの学生4名が「いきいき脳体操！ みんなで楽しく健康づくり」について「保健指導技術演習」の一環として健康教育を実施した（教員4名、職員1名も参加 ）。

④上志段味学区防災訓練への参加



日時：2025年11月16日（日）10：00～12：00
会場：上志段味小学校 グラウンド・体育館
内容：看護学部の教職員 11 名（当日 8 名）が参加し、「応急処置の実演（毛布を用いた傷病者の搬送や三角巾を用いた応急処置）」「災害に役立つ防災グッズの作成（新聞紙スリッパの作成と実際に履いてみる体験）」「母子・高齢者向けの防災グッズの展示（防災グッズの展示や防災バックの重さを体験）」を行った。

(3)上志段味小学校５年生を対象とした授業への協力



日時：2026 年 2 月 26 日（木）27 日（金）
10：50～12：30
会場：上志段味小学校
内容：ウィメンズヘルス・助産学分野の教員 5 名と看護学研究科博士前期課程高度実践（助産師）コースの学生 11 名が、小学 5 年生の理科の授業において「生命のつながり　人のたんじょう」の授業を担当した。妊娠から出産、育児についての内容を、クラスごと（4 クラス）に体験や演習を中心とした授業を行い、博士前期課程の学生は「ウィメンズヘルス教育論」の授業の一環として参加した。

(4)愛知県助産師会との「助産所まつり」協同開催



日時：2025 年 12 月 20 日（土）13：00～16：00
会場：愛知県立大学　守山キャンパス
内容：愛知県助産師会「星野助産所（守山区）」企画による助産院まつり「みんなで学ぼう性教育講座」を共同開催し、ウィメンズヘルス助産学教員 4 名と学生ボランティア 2 名が参加した。近隣の小学生の親子を対象に、保護者向けの性教育や、胎児・新生児人形抱っこ体験、子宮に入って生まれてみよう体験、絵本の読み聞かせなどを企画した。

(5)東谷山フルーツパークへの協力



日時：2026 年 3 月 4 日（水）
会場：東谷山フルーツパーク
内容：東谷山フルーツパークより協力依頼があり、西澤講師を講習会講師として派遣した。東谷山フルーツパークの職員を対象に、「応急手当講習会」を開催した。参加者は 16 名であった。

(6)長久手プロギングへの協力



日時：2026 年 3 月 28 日（土）
会場：長久手中央2号公園リニモテラス公益施設、愛・地球博記念公園
内容：長久手市より協力依頼があり、長谷川委員と大学院生2名のボランティアが救護員として参加した。プロギングとは、ジョギングをしながらごみを拾うスウェーデン発祥のフィットネス活動である。環境保護と健康促進を目的として行われた。参加者は138名であった。

７．教員等による地域貢献

≪審議会等の委員≫（公表されているものから一部抜粋）

〇愛知県　愛知県後期高齢者医療制度に関する懇談会委員、愛知県ひきこもり支援推進会議委員、愛知県医療審議会委員、愛知県介護保険審査会委員、愛知県国民健康保険運営協議会委員、愛知県国民保護協議会委員、愛知県在宅医療推進協議会委員、愛知県市町村が行う精神保健に関する相談支援体制整備援助事業 課題対応スーパーバイザー、愛知県情報公開･個人情報保護審査会委員、愛知県精神障害者地域移行・地域定着推進協議会委員、愛知県埋蔵文化財専門委員、愛知学長懇話会 SDGs 企画委員、愛知県がんセンター倫理審査委員会委員、愛知県サービスロボット安全評価委員会委員、愛知県学校法人等助成審議会委員、愛知県公文書館所蔵資料アドバイザー、愛知県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業相談支援体制連携調整委員会委員、愛知県高等学校社会科研究会名古屋瀬戸地区委員、愛知県高等学校情報教育研究会顧問、愛知県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員、愛知県子ども・子育て会議委員、愛知県准看護師試験委員、愛知県都市計画審議会委員、愛知県犯罪被害者等支援懇話会委員、愛知県病院事業庁愛知県がんセンター臨床研究審査委員会委員、愛知県福祉人材センター運営委員、愛知県文化財保護審議委員会、

〇愛西市　愛西市地域づくりアドバイザー

〇厚木市　厚木市いじめ問題調査委員会委員

〇岩倉市　岩倉市いじめ問題専門委員会委員

〇春日井市　春日井市健康施策等推進協議会委員、春日井市高蔵寺リ・ニュータウン推進会議委員

〇瀬戸市　瀬戸市子どもの権利擁護委員、瀬戸市地域包括支援センター運営協議会委員、瀬戸市地域密着型サービス事業所整備及び介護老人福祉施設整備に係る事業者選定委員会委員、瀬戸市ひきこもり地域関係機関ネットワーク会議委員、瀬戸市子ども・子育て会議委員、瀬戸市障害者地域自立支援委員会委員

〇長久手市　長久手市自立支援協議会、長久手市地域包括ケア推進協議会委員、長久手市いじめ問題専門委員会委員、長久手市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議委員、長久手市行政改革推進委員、長久手市国民健康保険運営協議会委員、長久手市地域包括ケア推進協議会委員、長久手市文化財保護審議会委員

〇名古屋市　名古屋市外国人介護人材等導入サポート事業評価委員、名古屋市障害者基幹相談支援センター運営法人 選定評価委員、今後の名古屋市総合リハビリテーションセンターのあり方検討に係る懇談会委員、名古屋市高齢者施策推進協議会委員、名古屋市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画部会委員、名古屋市障害者・高齢者権利擁護センター南部事務所サービス調整会議委員、名古屋市博物館協議会委員

〇日進市　日進市高齢者福祉・介護保険事業運営協議会委員

〇半田市　半田市文化財専門委員会委員

〇その他　WWL コンソーシアム構築支援事業運営指導委員会委員、愛知県医療ソーシャルワーカー協会学生支援委員会委員

８．資料

愛知県立大学地域連携センター規程

（趣旨）

第１条　この規程は、愛知県立大学学則第６条の規定に基づき設置される地域連携センター（以下「センター」という。）の運営に関する基本的事項について、定めるものとする。

（目的）

第２条　センターは、愛知県立大学の有する教育研究資源等を活用し、愛知県を始め行政機関、大学等研究機関、産業界、地域社会等学外との多様な連携による地域連携活動や生涯学習事業を通じて、地域の課題解決や発展に貢献することを目的とする。

（組織）

第３条　次条に規定する業務のうち、主に守山キャンパスにおける地域連携活動や生涯学習事業に関する業務を行うため、センターに地域連携センター守山支部（以下「センター守山支部」という。）を置く。

（業務）

第４条　センターは、その目的を達成するために、次に掲げる業務を行う。

（１）地域連携活動及び生涯学習事業に係る以下の業務に関すること

ア　企画・運営・実施・支援業務

イ　情報収集・発信業務

ウ　学内組織及び関係機関との連携及び調整業務

（２）学術文化交流センターの管理・運営に関すること

（３）その他センター長が適当と認めた業務

（センター長）

第５条　センターに、センター長を置く。

２　センター長は、学長の命を受け、センターの業務を掌理する。

３　センター長の任期は３年とし、再任を妨げない。ただし、最初の就任の日から引き続き６年を超えて在任することはできない。

また、任期の途中でセンター長が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

４　センター長に事故がある場合は、副センター長がセンター長の職務を代理する。

（副センター長）

第６条　センターに副センター長を置く。

２　副センター長は、センター長の命を受け、センターの業務を補佐する。

３　副センター長の任期は３年とし、再任を妨げない。ただし、最初の就任の日から引き続き６年を超えて在任することはできない。

また、任期の途中で副センター長の交替が生じた場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（地域連携センター守山支部長）

第７条　センター守山支部に地域連携センター守山支部長（以下「支部長」という。）を置く。
２　支部長は、センターの業務のうち、守山キャンパスの業務を掌理する。
３　支部長は、センター長と協議の上、学長が指名する。
４　支部長は、センター長又は副センター長が兼ねる。
５　支部長の任期は、センター長又は副センター長の職にある期間とする。
（センター長補佐）
第８条　センターに、センター長補佐を置くことができる。
２　学長は、センターの運営に必要と判断した場合、センター長と協議の上、センター長補佐を指名することができる。
３　センター長補佐は、センター長の命を受け、センター長の職務を補佐する。
４　センター長補佐の任期は１年とし、再任を妨げない。ただし、最初の就任の日から引き続き６年を超えて在任することはできない。
　また、任期の途中でセンター長補佐が交替した場合は、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
（センター運営会議）
第９条　センターの業務を円滑に運営するため、センター運営会議を置く。
２　センター運営会議は次の者をもって組織し、議長はセンター長をもって充てる。
（１）センター長
（２）副センター長
（３）センター長補佐
（４）学術情報部長
（５）その他センター長が必要と認めた者
３　運営会議はセンター長が召集する。
４　議長が必要と認める場合は、センター運営会議に研究推進局長を出席させ、その意見を述べさせることができる。
（庶務）
第10条　センターの庶務は、研究支援・地域連携課で行う。ただし、センター守山支部にかかる庶務は、守山キャンパス学務課が行う。
（補則）
第11条　この規程に定めるセンターの運営に関し必要な事項は、学長が定める。

附則
この規程は、平成21年４月１日から施行する。
附則
この規程は、平成25年４月１日から施行する。
附則

この規程は、平成29年４月１日から施行する。

附則

（施行期日）

この規程は、令和元年11月26日から施行する。

（任期に関する経過措置）

１　この規程の施行の際現にセンター長及びセンター長補佐の職にある者の任期については、改正前の規定を適用する。

２　この規程の施行の日から令和３年３月31日までの間にセンター長補佐の職に就いた者の任期については、改正後の規定にかかわらず、令和３年３月31日までとする。

附則

（施行期日）

１　この規程は、令和３年４月１日から施行する。

（要綱の廃止）

２　愛知県立大学産学連携推進室要綱は、廃止する。

附則

（施行期日）

１　この規程は、令和５年４月１日から施行する。

（規程の廃止）

２　愛知県立大学看護実践センター規程は、令和５年３月31日をもって廃止する。

（任期に関する経過措置）

３　最初の副センター長の職に就いた者の任期については、第６条第３項の規定にかかわらず、令和６年３月31日までとする。

附則

この規程は、令和６年12月24日から施行する。

令和７年度　地域連携センター運営会議構成員名簿

所　　属	氏　　名	学部等
議長（地域連携センター長）	山本　理絵	教育福祉学部
地域連携センター 副センター長	神谷　摂子	看護学部
地域連携センター長補佐	張　文菁	外国語学部
地域連携センター長補佐	李　澤珍	日本文化学部
地域連携センター長補佐	黒川 麻実	教育福祉学部
地域連携センター長補佐 （リカレント担当）	河邉　紅美	看護学部
地域連携センター長補佐	汲田　明美	看護学部
地域連携センター長補佐	粕谷　英人	情報科学部
学術情報部長	廣瀧　千枝	

地域連携センター庶務

■守山キャンパス

所　　属	氏　　名
学務課長	中村　雅美
学務課	宮嶋　美幸

■長久手キャンパス

所　　属	氏　　名
研究支援・地域連携課長	村井　司
研究支援・地域連携課係長	尾澤　隆敏
研究支援・地域連携課主任	山田　梨津子
研究支援・地域連携課	向　孝史

〇地域連携センター　ウェブサイト

ウェブサイトアドレス　https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei

地域連携センターの概要や活動報告、これから開催する講演会、講座等の情報を PC 版及びスマートフォン版で提供しており、申込が必要な講座については、申込手続を円滑に行っていただけるよう、講座申込フォームも開設しています。

当センター年報のアーカイブや教員・研究概要を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

○　Web 版年報
https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/annualreport/index.html

○　教員・研究概要検索サイト
https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/staff/index.html

令和 8(2026)年 5 月発行

編集・発行　愛知県立大学地域連携センター

愛知県長久手市茨ケ廻間1522－3

電話:0561－76－8843

https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei

All Rights Reserved. (C)2026 Aichi Prefectural University